

中小企業景況調査報告書

(第122回)

平成23年 4 ~ 6 月期 実 績

平成23年 7 ~ 9 月期 見通し

平成23年 7 月

北海道商工会議所連合会

目 次

． 調 査 要 領	
1． 調査時点及び調査対象期間	1
2． 調査対象	1
3． 調査地域及び調査方法	1
4． 業種別・規模別回答状況	1
． 概 況	2
1． 今期の業況	
(1) 今期の業況	5
(2) 今期の売上高	7
(3) 今期の採算（経常利益）	8
(4) 今期の資金繰り	10
(5) 今期の経営上の問題点	11
(6) 今期の従業員の動向	11
(7) 今期の新規設備投資	12
2． 来期の見通し	
(1) 来期の業況	13
(2) 来期の売上高	14
(3) 来期の採算（経常利益）	14
(4) 来期の新規設備投資	15
． 業 種 別 の 動 向	
1． 製 造 業	15
2． 建 設 業	17
3． 卸 売 業	19
4． 小 売 業	20
5． サービス業	22
． 業 種 別 調 査 資 料	24

調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点 平成23年6月
- (2) 調査対象期間 平成23年4～6月期実績及び平成23年7～9月期の見通し

2. 調査対象

(1) 中小企業景況調査

「製造業・建設業」については、資本金3億円以下、又は従業員300人以下の企業、「卸売業」については、資本金1億円以下、又は従業員100人以下の企業、「小売業」については、資本金5千万円以下、又は従業員50人以下の企業、「サービス業」については、資本金5千万円以下、又は従業員100人以下の企業を対象とした。

(2) 業界動向調査

道内各地商工会議所が地域の中小企業者との相談等により情報収集した特徴的事例。また各業界組合・企業に対し独自に聞き取り調査を実施し、生の声を収集した。

3. 調査地域及び調査方法

- 全道商工会議所地域の中小企業に対しアンケート調査を実施（中小企業景況調査）
- 全道商工会議所を通じて地域の業界組合等へヒアリング調査を実施（業界動向調査）

4. 業種別・規模別回答状況（社数）

(1) 中小企業景況調査

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
小規模	44	57	38	64	69	272
中規模	14	12	20	13	28	87
合計	58	69	58	77	97	359
構成比(%)	16.2	19.2	16.2	21.4	27.0	100.0

(2) 業界動向調査

- ・業界動向ヒアリング先 製造業 29社、建設業 25社、卸売業 15社、
小売業 18社、サービス業 64社、合計 151社

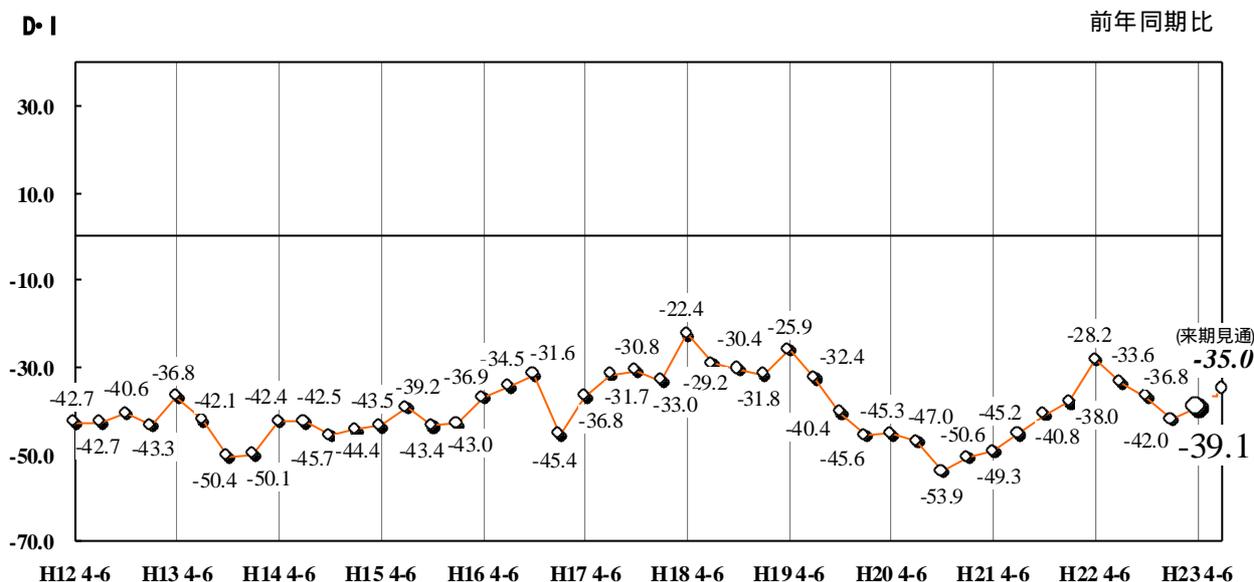
本調査結果中の「D・I」とある記号は、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差引いた値（景気動向指数）を示す。

ホームページ：URL <http://www.hokkaido.cci.or.jp/keiki/>

概況

- 業況D・Iは依然厳しい水準、一部に持ち直しの動きも -

業況推移(全業種平均D・I)
(好転 - 悪化)



今期の業況

今期（4月～6月期）の中小企業景況調査におけるの全業種平均D・I値（「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差）は、前年同期比（平成22年4月～6月期の水準と比較した今期の業況）では 39.1、前期比（平成23年1月～3月期の水準と比較した今期の業況）では 24.3となっており、前年同期比と前期比共に業況はマイナス幅を縮小した。

前回の調査（1月～3月期）時点からの推移では、全業種平均D・I値は、前年同期比では前回 42.0 今回 39.1と2.9ポイントマイナス幅が縮小し、前期比では前回 39.7 今回 24.3と15.4ポイントマイナス幅が大幅に縮小している。

業種別では、前年同期比では、製造(前回 46.5 今回 41.4)、建設(前回 47.9 今回 42.0)、卸売(前回 34.4 今回 35.1)、小売(前回 39.5 今回 44.5)、サービス(前回 41.5 今回 32.9)と、卸売業、小売業でマイナス幅が拡大したのに対し、製造業、建設業、サービス業ではマイナス幅が縮小した。

来期の業況見通しは、全業種平均D・I値で、前年同期比（平成22年7月～9月期の水準と比較した来期の見通し）では、 35.0とマイナス幅をさらに縮小する見通しとなっている。

今期の経営上の問題点として上位に挙げられているものは、依然として全業種で「需要の停滞」(製造業43.1%、建設業48.7%、卸売業63.8%、小売業38.1%、サービス業43.9%)が依然として大きな要因となっている他、製造業では「原材料価格の上昇」(23.5%)、建設業では「請負単価の低下・上昇難」(18.2%)、卸売業では「販売単価の低下・上昇難」(12.7%)、小売業では「大型店・中型店進出競争の激化」(18.3%)、サービス業では「利用者ニーズの変化への対応」(9.2%)などの問題点が浮上している。

一方、設備投資の状況については、今期、新たに設備投資を行った企業は全業種平均で11.9%と、前回調査時(8.1%)より3.8%上昇。また来期の設備投資予定については10.0%と、今期より設備投資を控える動きとなっている。

産業別の動向

【製造業】 [業況D・I値(前年同期比) 41.4(来期見通し 40.8)]

業況D・I値(前年同期比)の前の調査(平成23年1月~3月期)時点からの推移では、前回 46.5 今回 41.4と5.1ポイントマイナス幅が縮小した。

業界組合・企業よりのコメントでは、需要の停滞や原材料価格の上昇により採算の悪化を訴える声が多い。

〔主なコメント〕

- ・震災や天候不順の影響、原材料の上昇と不安材料が多く厳しい状況である。雇用状況も良くなり消費の財布の紐は固い。(食料品製造)
- ・復興に向けての期待感はあるが、現実のものとなるには時間がかかりそう。一般的な公共工事は予算縮小で昨年と雰囲気は変わらないか若しくは更に落ち込むことも懸念する。(鉄鋼)
- ・観光土産品の包装資材を製造しており、6月中旬までは観光客減少の影響を受け大幅な売上減少したが、最近になり多少受注が伸びてきた。(化成品製造)
- ・震災の影響で原材料の仕入が不安定な状態に対し、納期への対応から複数の納入業者へ手配するなどの対応に追われ、重複の仕入れで不要在庫となることが懸念される。(包装資材製造)

【建設業】 [業況D・I値(前年同期比) 42.0(来期見通し 28.3)]

業況D・I値(前年同期比)の前の調査(平成23年1月~3月期)時点からの推移では、前回 47.9 今回 42.0と5.9ポイントマイナス幅が縮小した。

業界組合・企業よりのコメントでは、依然として官公需要の停滞による受注の減少や、請負単価の低下・上昇難による採算の悪化の声が見られた。

〔主なコメント〕

- ・震災の影響により、一部手に入らない資材等もあるが、代替品対応している。但し、資材調達難により工期が遅れているという声もある。(建築工事業)
- ・受注等は増加傾向にあるが、資材の値上がりで利益率は下がっている。(土木工事)
- ・新築の受注が見込めない。従来の新築顧客を中心としたリフォーム需要があり、粗利もとれることから、リフォームの掘り起こしに努めている。(一般住宅建築)

【卸売業】 [業況D・I値（前年同期比） 35.1（来期見通 36.4）]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成23年1月～3月期）時点からの推移では、前回 34.4 今回 35.1と0.7ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは、需要の停滞を訴える声に加え、食料品卸や青果卸では風評被害の影響を懸念する声が寄せられた。

〔主なコメント〕

- ・ホテル観光関連事業者との取引が中心のため、4月以降大幅に減少し影響があった。これから夏場の観光シーズンへ向けての売上増に期待している。（繊維製品卸）
- ・震災発生後の米の買い占めがあったことから売上増加が見られたが、現在は本州産新米の売上激減を危惧しており不透明で先行きが見えない状況。（食料品卸）
- ・放射能の影響で福島産のさくらんぼが売れず、桃も出荷できるかどうか。今後の販売に大きな影響が予想される。（青果卸）

【小売業】 [業況D・I値（前年同期比） 44.5（来期見通 37.8）]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成23年1月～3月期）時点からの推移では、前回 39.5 今回 44.5と5.0ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは、消費者ニーズの変化や、個人消費の低迷などによる売上の減少を訴える声が多い。

〔主なコメント〕

- ・新車の生産遅れに伴い、車輦入れ替えによる中古車不足が発生しており、全体的に品薄状態で市場は沈滞化している。（中古車販売）
- ・地上デジタル放送への切り替えで一時期テレビが売上増となったが、単価の下落が続いており、製品も余り気味の状況である。（家電）
- ・消費者の買い控えは続いており、売上は低迷している。（衣料品販売）
- ・小中学校の研修旅行や道内高校の修学旅行に加え、本州からの観光客が大半は戻りつつあるが、前年対比で約30%の売上減少となっている。（土産物）

【サービス業】 [業況D・I値（前年同期比） 32.4（来期見通 31.7）]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成23年1月～3月期）時点からの推移では、前回 41.5 今回 32.4と9.1ポイントマイナス幅が縮小した。

業界組合・企業よりのコメントでは、依然消費マインドが冷え込んでおり、先行き不透明による不安感を訴える声が見られた。

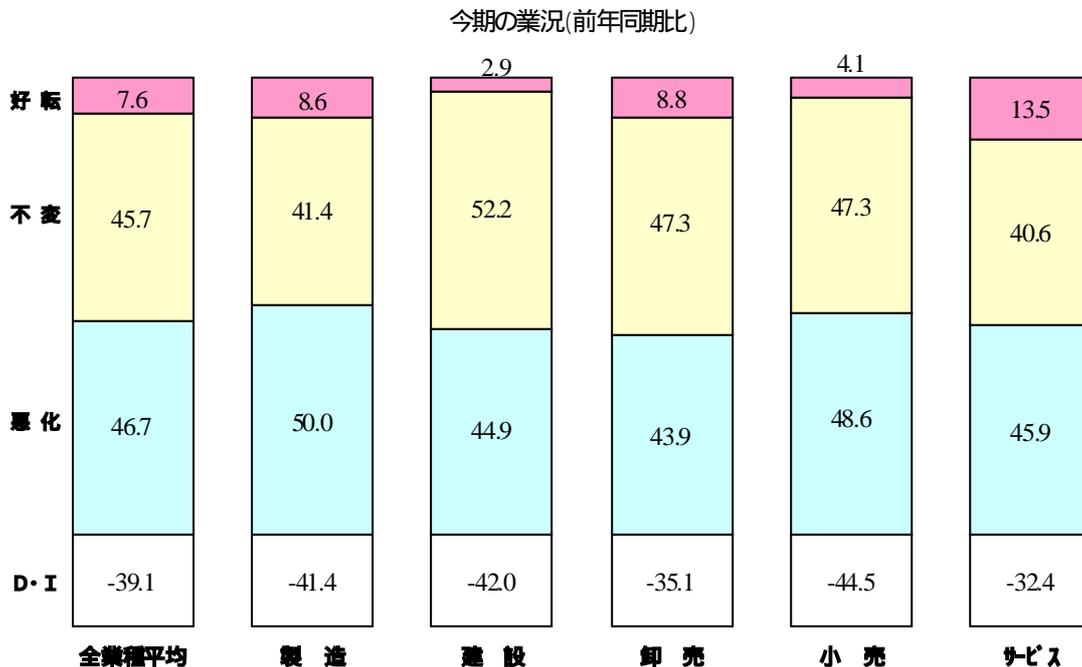
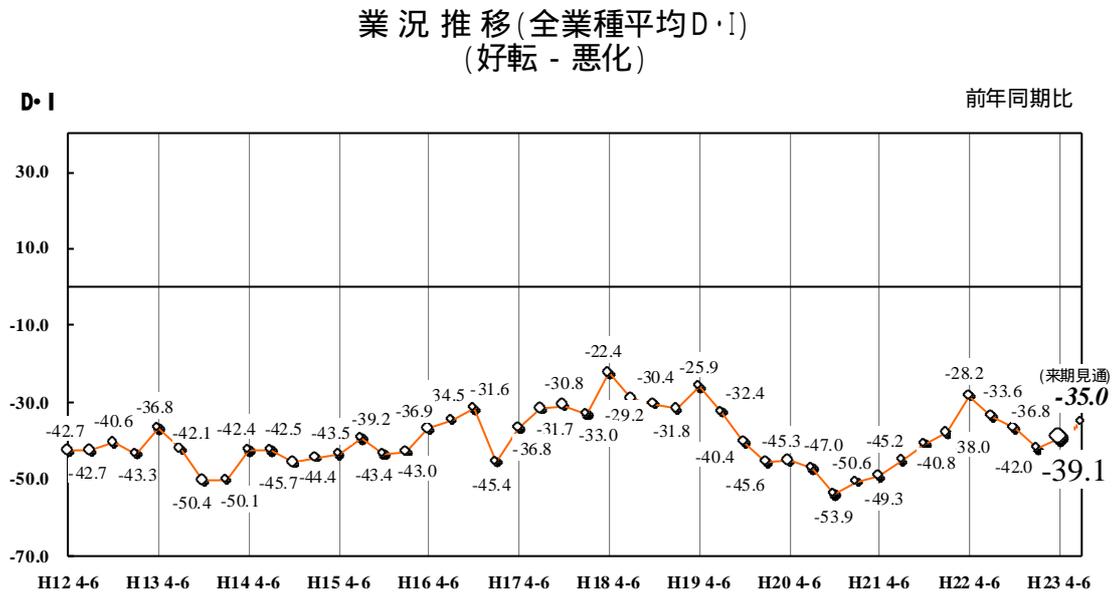
〔主なコメント〕

- ・客単価の下落が激しく、夏場の最盛期に向かう中で、先行きが不透明である。（宿泊業）
- ・相変わらず観光客の入れ込みが少ない。高速道路の有料化で客足も遠のいている。地元の客をターゲットにどのように利用度を高めていくかが大きな課題である。（飲食店）
- ・震災の影響による自粛の動きはおさまっているものの、歓送迎会時のかき入れ時に空いた穴は大きく、資金繰りが厳しくなりつつある。（飲食店）

1. 今期の業況

(1) 今期の業況

【前年同期比】（平成22年 4～6月期の水準と比較した今期の業況）

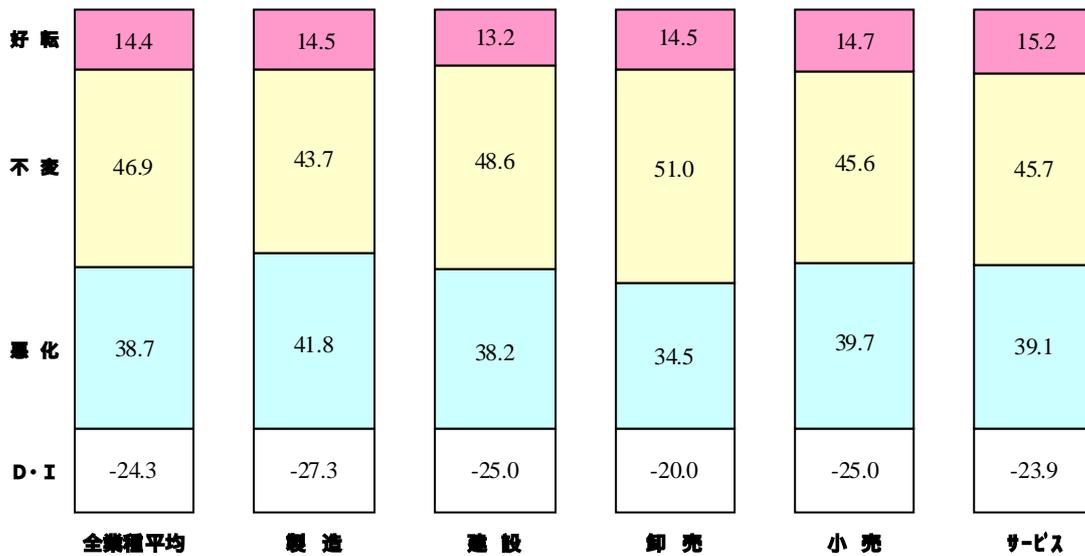


全業種平均でD・I値 **39.1**〔前回調査時(平成23年1～3月期 42.0)より2.9ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 46.5 41.4〕、建設〔前回 47.9 42.0〕
卸売〔前回 34.4 35.1〕、小売〔前回 39.5 44.5〕
サービス〔前回 41.5 32.4〕

【前期比】（平成23年 1 ～ 3 月期の水準と比較した今期の業況）

今期の業況(前期比)

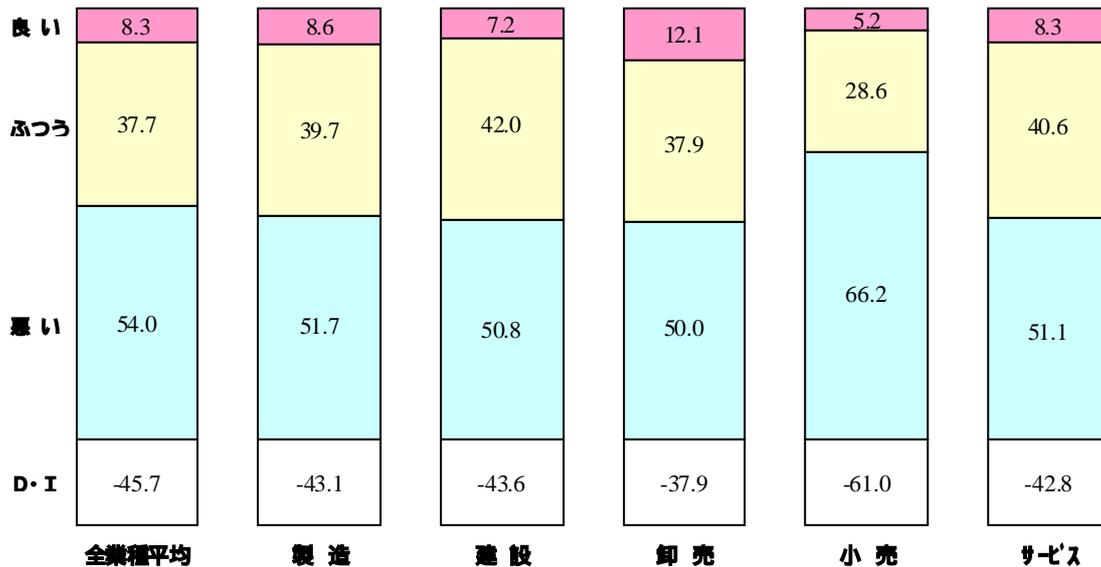


全業種平均でD・I値 **24.3**〔前回調査時（平成23年1～3月期 39.7）より15.4ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 38.1 27.3〕、建設〔前回 49.4 25.0〕
卸売〔前回 37.7 20.0〕、小売〔前回 35.1 25.0〕
サービス〔前回 38.1 23.9〕

【今期の水準】

今期の業況(今期の水準)



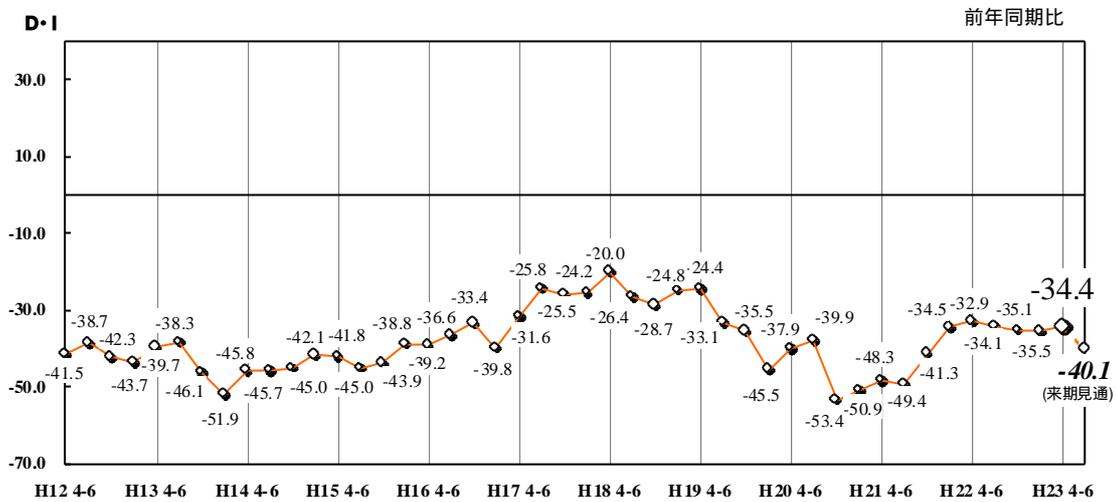
全業種平均でD・I値 **45.7**〔前回調査時（平成23年1～3月期 52.5）より6.8ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 48.4 43.1〕、建設〔前回 54.8 43.6〕
卸売〔前回 52.4 37.9〕、小売〔前回 57.1 61.0〕
サービス〔前回 49.5 42.8〕

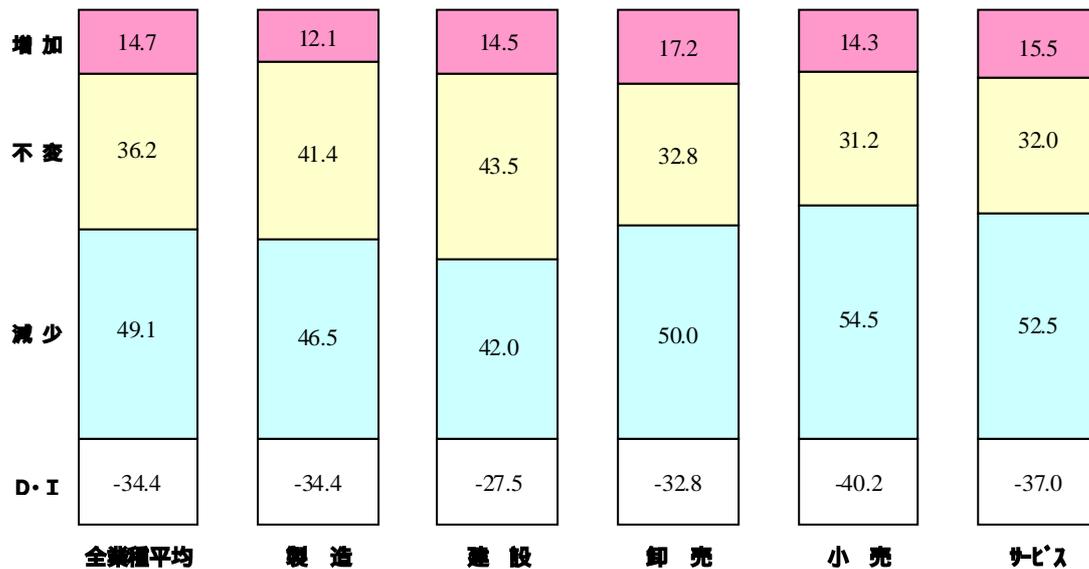
(2) 今期の売上高

【前年同期比】（平成22年 4～6月期の水準と比較した今期の業況）

売上高推移(全業種平均D・I)
(増加 - 減少)



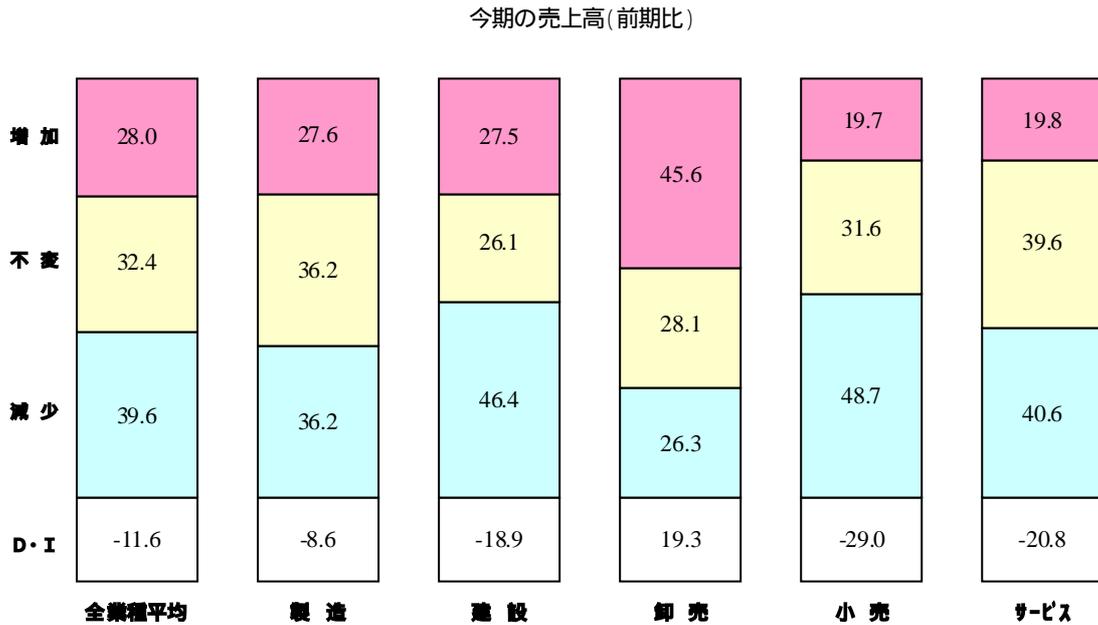
今期の売上高(前年同期比)



全業種平均でD・I値 **34.4**〔前回調査時（平成23年1～3月期 35.5）より1.1ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 37.9 34.4〕、建設〔前回 31.5 27.5〕
卸売〔前回 42.6 32.8〕、小売〔前回 32.4 40.2〕
サービス〔前回 33.0 37.0〕

【前期比】（平成23年 1～3月期の水準と比較した今期の業況）



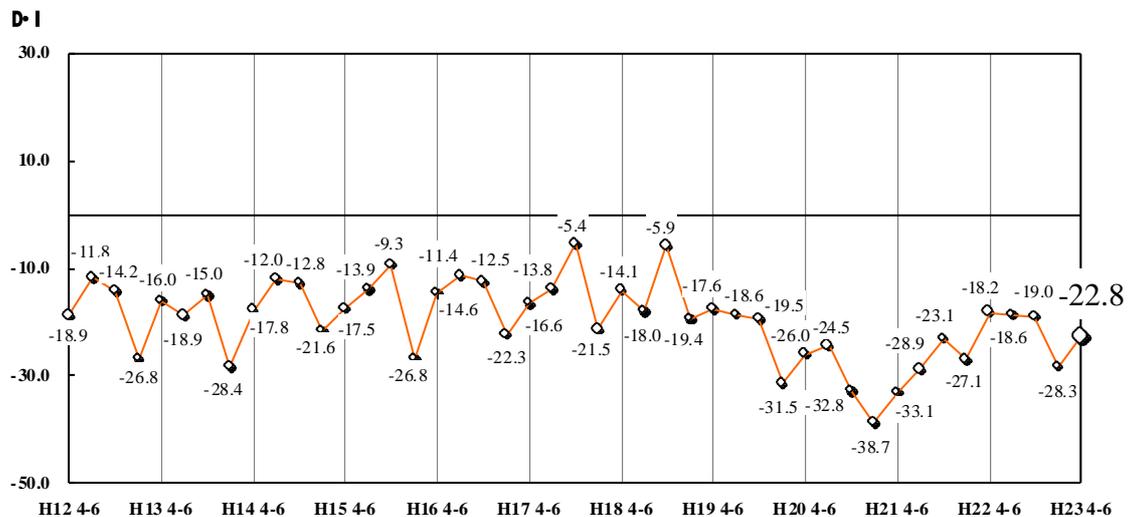
全業種平均でD・I値 **11.6**〔前回調査時（平成23年1～3月期 50.3）より38.7ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 51.7 8.6〕、建設〔前回 54.2 18.9〕
 卸売〔前回 46.7 19.3〕、小売〔前回 51.4 29.0〕
 サービス〔前回 47.7 20.8〕

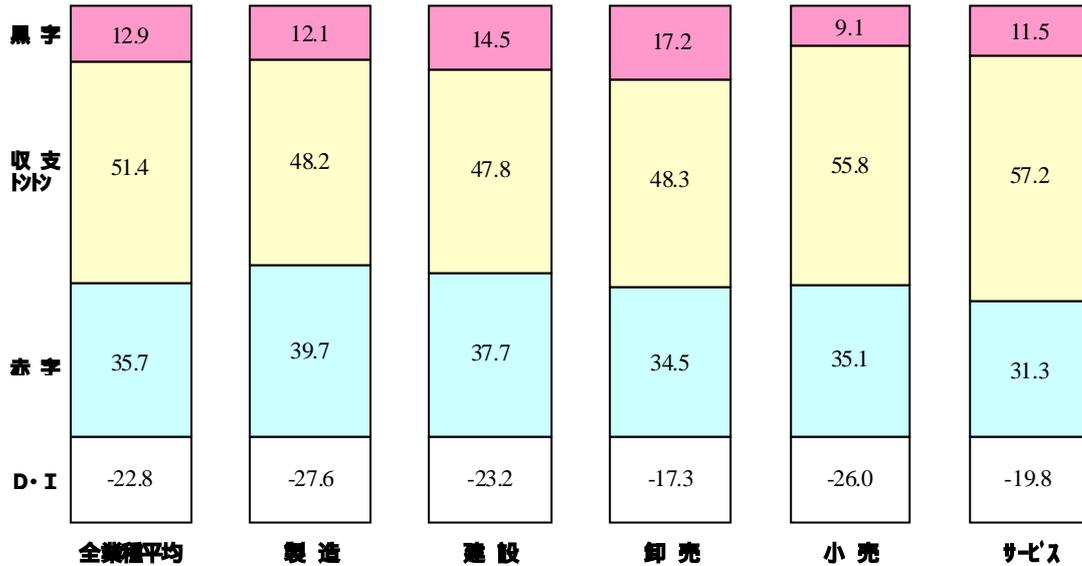
(3) 今期の採算（経常利益）

【今期の水準】

採算推移(全業種平均D・I)
 (黒字 - 赤字)



今期の採算(今期の水準)

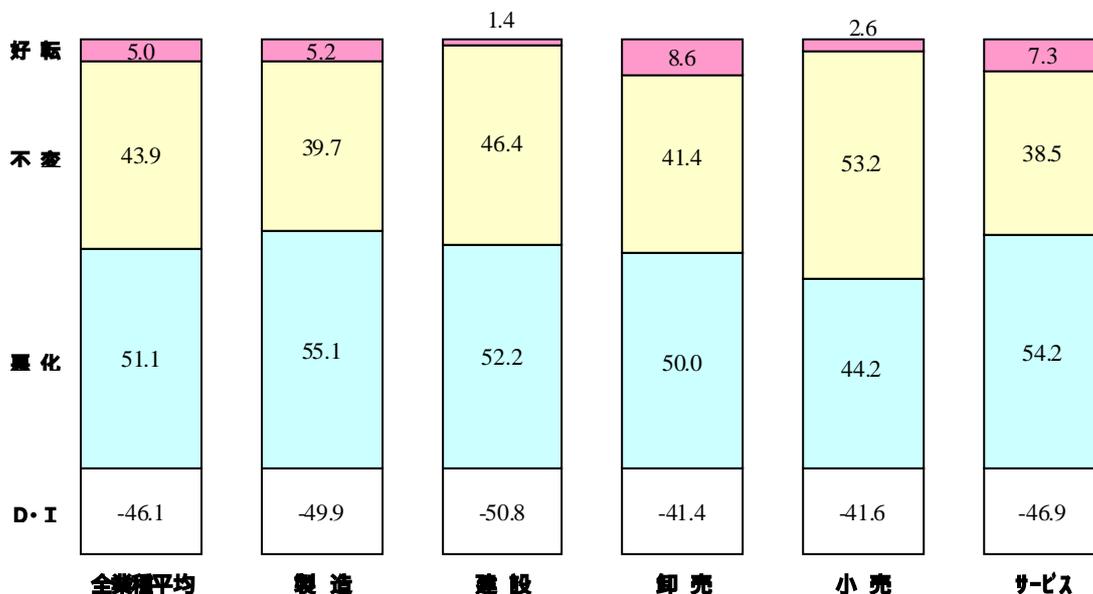


全業種平均でD・I値 **22.8**〔前回調査時(平成23年1~3月期 28.3)より5.5ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 27.6 27.6〕、建設〔前回 37.0 23.2〕
卸売〔前回 18.0 17.3〕、小売〔前回 33.8 26.0〕
サービス〔前回 25.0 19.8〕

【前年同期比】(平成22年4~6月期の水準と比較した今期の採算)

今期の採算(前年同期比)



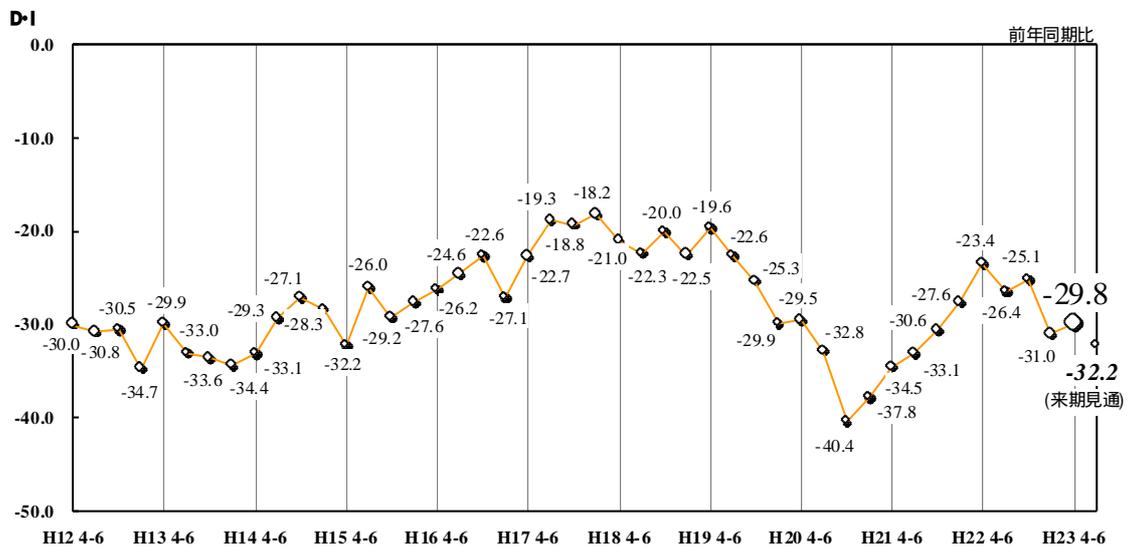
全業種平均でD・I値 **46.1**〔前回調査時(平成23年1~3月期 43.8)より2.3ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 48.2 49.9〕、建設〔前回 50.6 50.8〕
卸売〔前回 41.0 41.4〕、小売〔前回 37.6 41.6〕
サービス〔前回 42.0 41.9〕

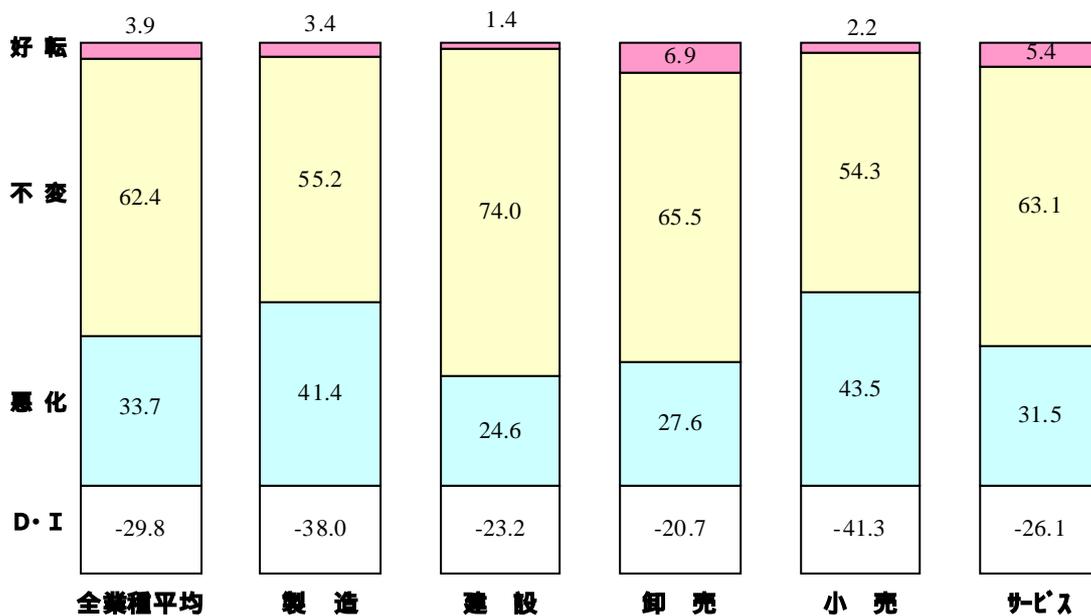
(4) 今期の資金繰り

【前年同期比】(平成22年4～6月期の水準と比較した今期の資金繰り)

資金繰り推移(全業種平均D・I)
(好転 - 悪化)



今期の資金繰り(前年同期比)



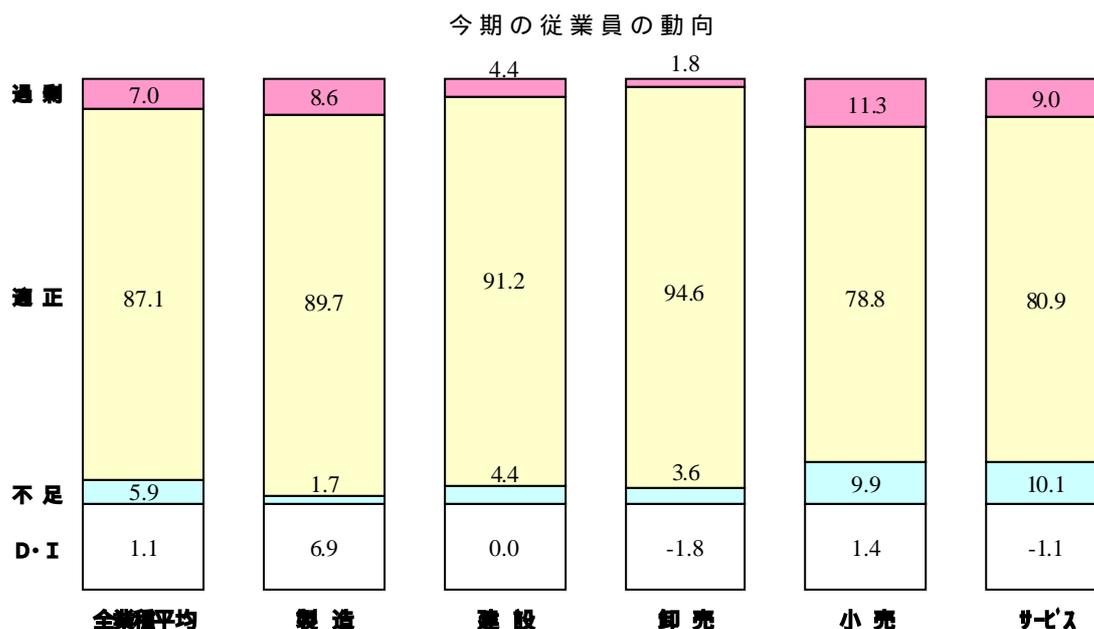
全業種平均でD・I値 **29.8**〔前回調査時(平成23年1～3月期 31.0)より1.2ポイントマイナス幅が縮小〕。前回調査時に比べ、D・Iはマイナス幅が縮小しているが、総じて全業種ともに不変とする回答が過半数を超えている。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 38.6 38.0〕、建設〔前回 34.3 23.2〕
卸売〔前回 22.9 20.7〕、小売〔前回 31.5 41.3〕
サービス〔前回 27.7 26.1〕

(5) 今期の経営上の問題点 (1位に挙げられた項目)

製造業	「需要の停滞」	(43.1%) [前回 43.3%]
	「原材料価格の上昇」	(23.5%) [前回 14.8%]
	「製品(加工)単価の低下・上昇難」	(9.8%) [前回 9.4%]
建設業	「官公需要の停滞」	(29.0%) [前回 28.8%]
	「民間需要の停滞」	(19.7%) [前回 21.2%]
	「請負単価の低下・上昇難」	(18.2%) [前回 30.9%]
卸売業	「需要の停滞」	(63.8%) [前回 53.5%]
	「販売単価の低下・上昇難」	(12.7%) [前回 8.9%]
	「人件費以外の経費の増加」	(7.3%) [前回 5.4%]
小売業	「需要の停滞」	(38.1%) [前回 32.2%]
	「大型店・中型店進出競争の激化」	(18.3%) [前回 14.7%]
	「消費者ニーズの変化への対応」	(8.5%) [前回 11.8%]
	「仕入単価の上昇」	(8.5%) [前回 5.9%]
サービス業	「需要の停滞」	(43.9%) [前回 40.7%]
	「利用者ニーズの変化への対応」	(9.2%) [前回 10.1%]
	「新規参入業者の増加」	(8.0%) [前回 3.8%]
	「人件費の増加」	(8.0%) [前回 2.5%]

(6) 今期の従業員の動向



全業種平均でD・I値では 1.1〔前回調査時(平成23年1~3月期 4.1)〕と、依然「適正」(87.1%)とする企業が大勢を占めている。

[業種別D・I値] 製造〔前回 8.9 6.9〕(適正89.7%)
 建設〔前回 7.0 0.0〕(適正91.2%)
 卸売〔前回 3.4 1.8〕(適正94.6%)
 小売〔前回 1.4 1.4〕(適正78.8%)
 サービス〔前回 0.0 1.1〕(適正80.9%)

(7) 今期の新規設備投資



(単位%)

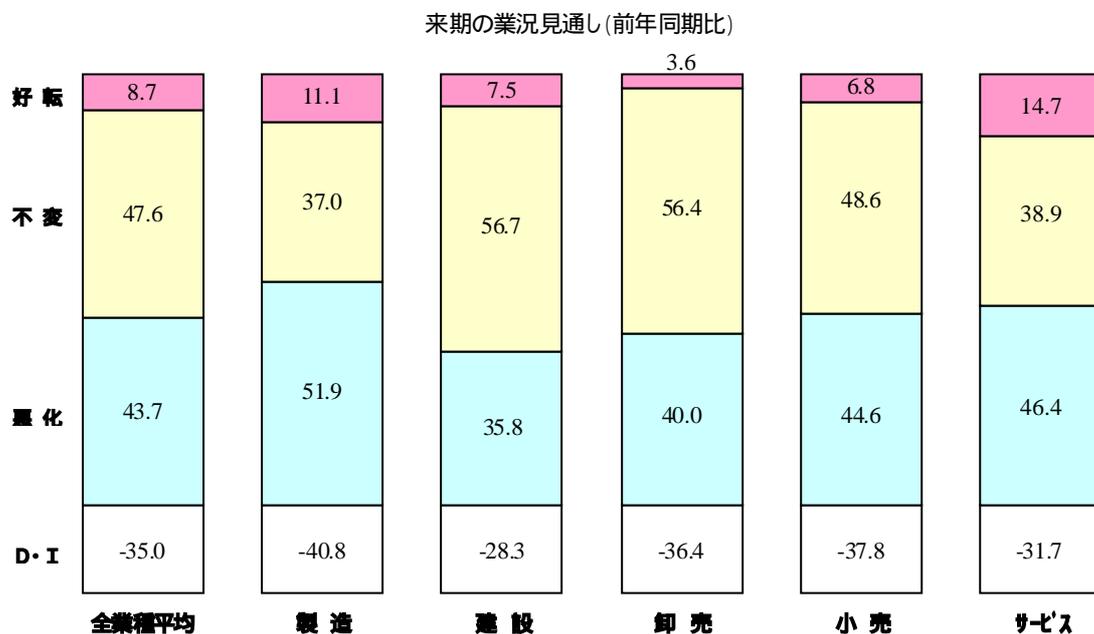
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施した	17.5	17.9	3.5	8.1	12.5	11.9
土地	10.0	0.0	0.0	0.0	8.3	3.7
工場建物、建物、店舗	0.0	0.0	0.0	33.3	16.7	10.0
生産・販売・サービス設備、建設機械	80.0	8.3	0.0	33.3	8.3	26.0
車両運搬具	0.0	58.3	100.0	0.0	16.7	35.0
倉庫・駐車場等の付帯施設	20.0	8.3	0.0	16.7	8.3	10.7
O A 機器	0.0	50.0	50.0	16.7	50.0	33.3
厚生施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	66.7	16.7	16.7
実施していない	82.5	82.1	96.5	91.9	87.5	88.1

新たに設備投資を実施した企業は平均で11.9%〔前回調査時(平成23年1~3月期8.1%)〕、業種別では製造〔前回13.8% 17.5%〕、建設〔前回5.6% 17.9%〕、卸売〔前回8.3% 3.5%〕、小売〔前回3.9% 8.1%〕、サービス〔前回9.1% 12.5%〕と、卸売業を除き前回調査時の水準を上回った。

2. 来期の見通し

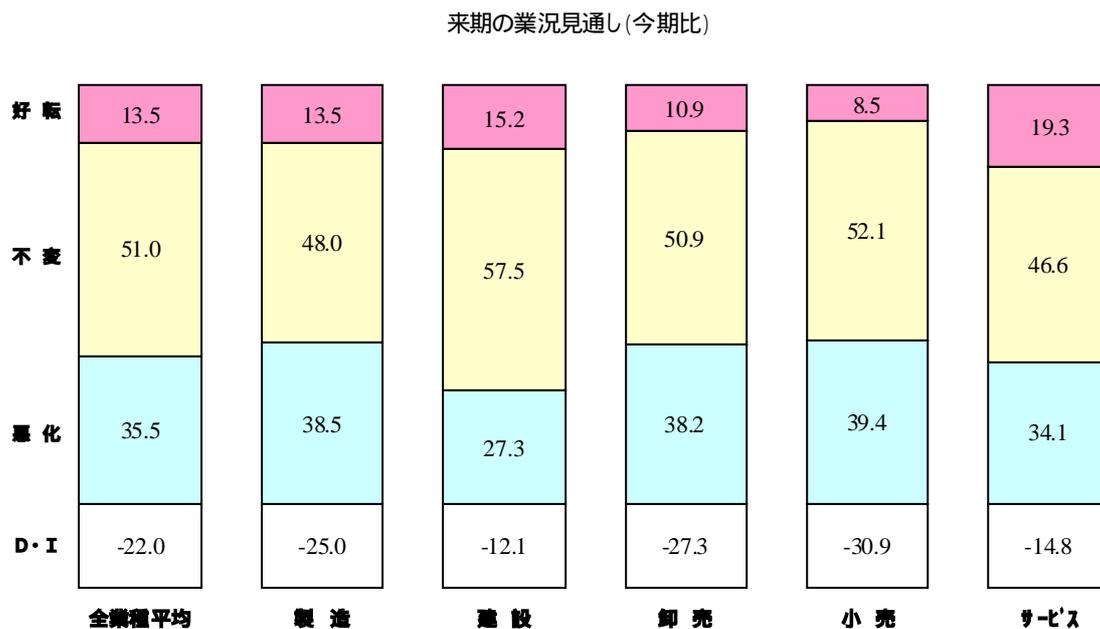
(1) 来期の業況

【前年同期比】（平成22年7～9月期の水準と比較した来期の見通し）



全業種平均でD・I値 **35.0**〔今期の業況（前年同期比 39.1）より4.1ポイントマイナス幅が縮小〕と、一部持ち直しの動きが見られるものの業況は依然低迷が続く。

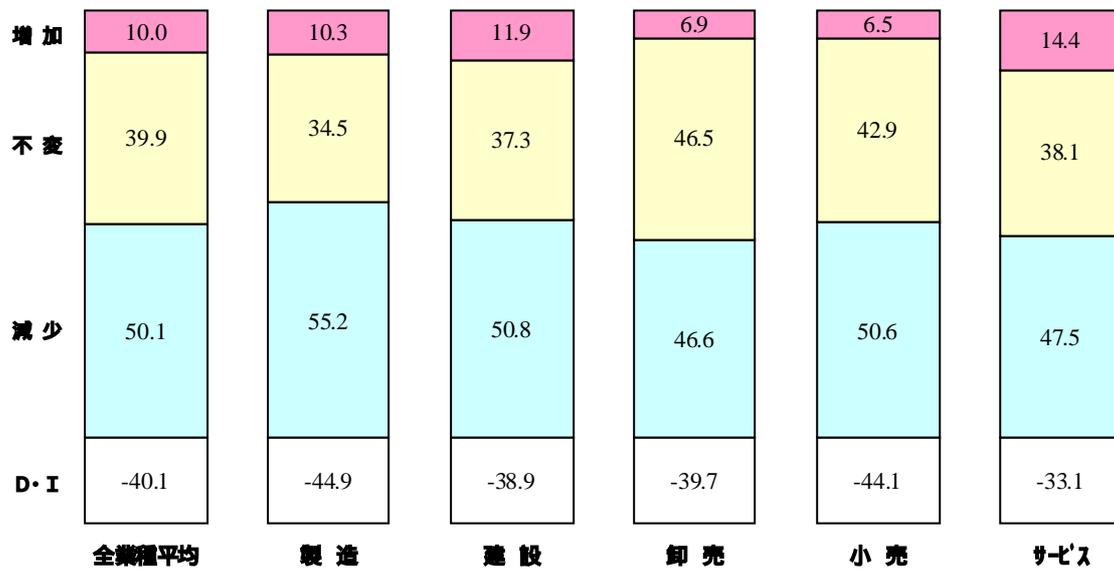
【今期比】（平成23年4～6月期の水準と比較した来期の見通し）



(2) 来期の売上高

【前年同期比】（平成22年7～9月期の水準と比較した来期の見通し）

来期の売上高見通し(前年同期比)

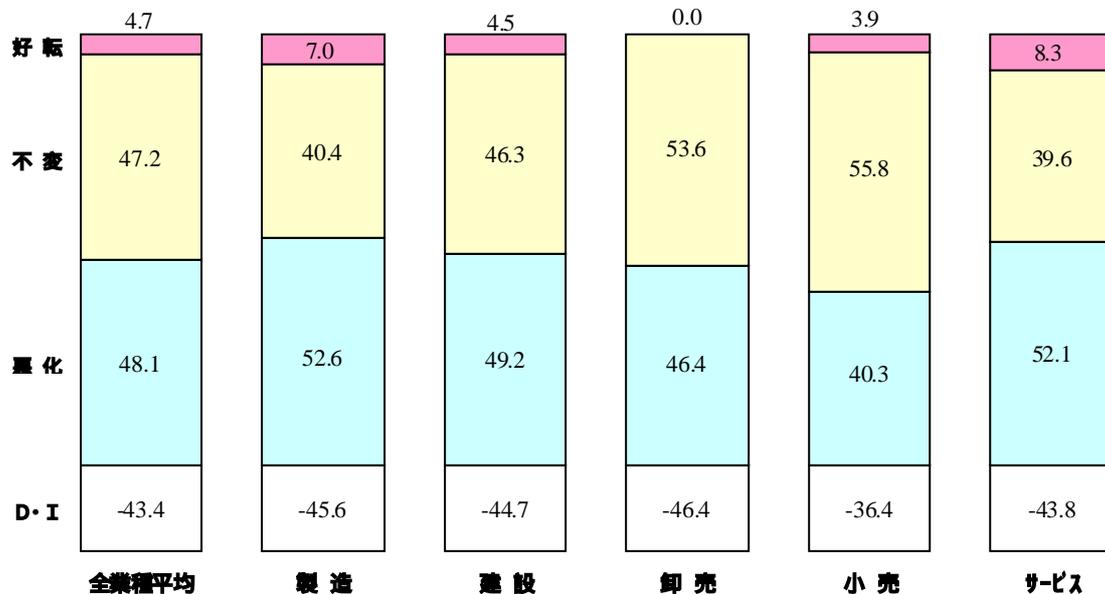


全業種平均でD・I値 **40.1**〔今期の売上高（前年同期比 34.4）より5.7ポイントマイナス幅が拡大する見通し〕。

(3) 来期の採算（経常利益）

【前年同期比】（平成22年7～9月期の水準と比較した来期の見通し）

来期の採算見通し(前年同期比)



全業種平均でD・I値 **43.4**〔今期の採算（前年同期比 22.8）より20.6ポイントマイナス幅が拡大する見通し〕。

(4) 来期の新規設備投資

(単位%)

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施する	8.9	11.9	7.0	9.5	12.6	10.0
土地	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	1.7
工場建物、建物、店舗	0.0	12.5	0.0	14.3	8.3	7.0
生産・販売・サービス設備、建設機械	40.0	37.5	0.0	14.3	50.0	28.4
車両運搬具	20.0	50.0	25.0	14.3	16.7	25.2
倉庫・駐車場等の付帯施設	40.0	12.5	25.0	0.0	16.7	18.8
OA機器	0.0	12.5	50.0	57.1	41.7	32.3
厚生施設	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0
その他	0.0	0.0	0.0	14.3	16.7	6.2
実施しない	91.1	88.1	93.0	90.5	87.4	90.0

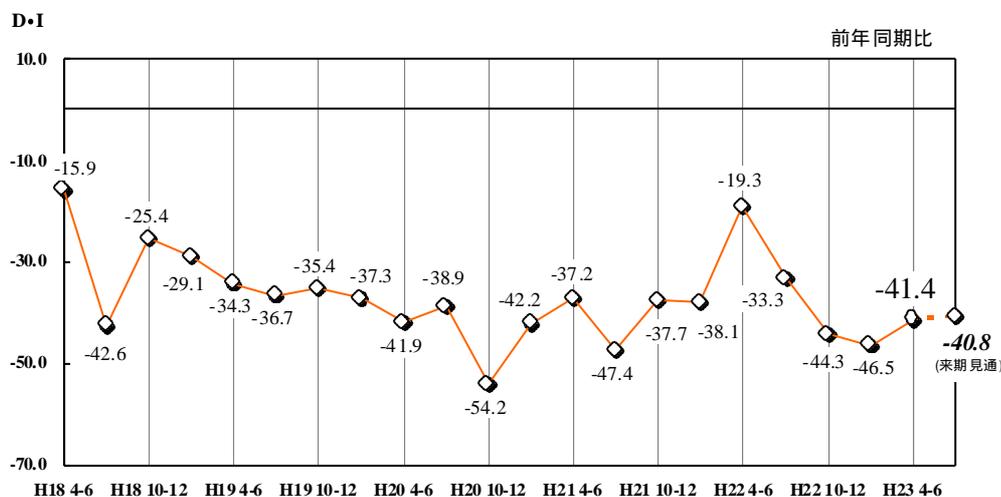
新たに設備投資を予定している企業は全業種平均で**10.0%**となっており、今期(11.9%)を下回る見通し。

業種別では、製造〔今期17.5% 8.9%〕、建設〔今期17.9% 11.9%〕、卸売〔今期3.5% 7.0%〕、小売〔今期8.1% 9.5%〕、サービス〔今期12.5% 12.6%〕となっている。

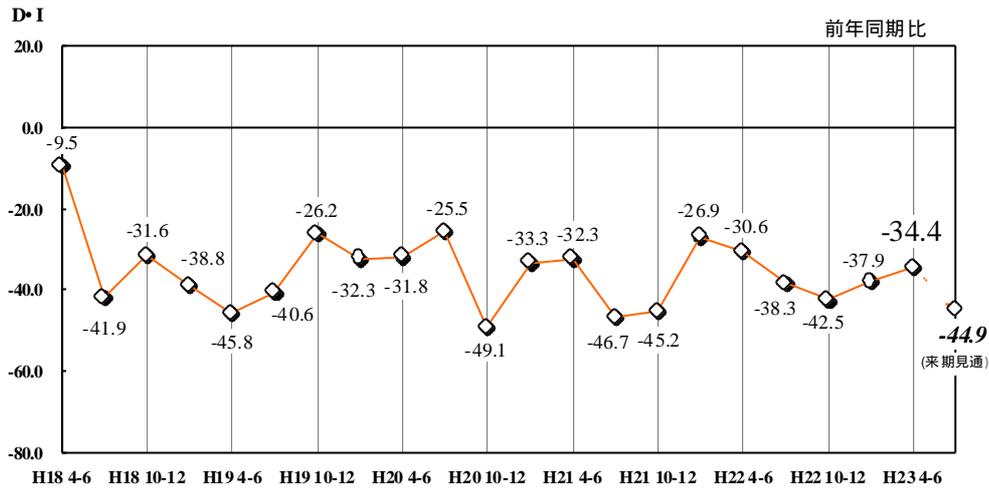
業種別の動向

(1) 製造業

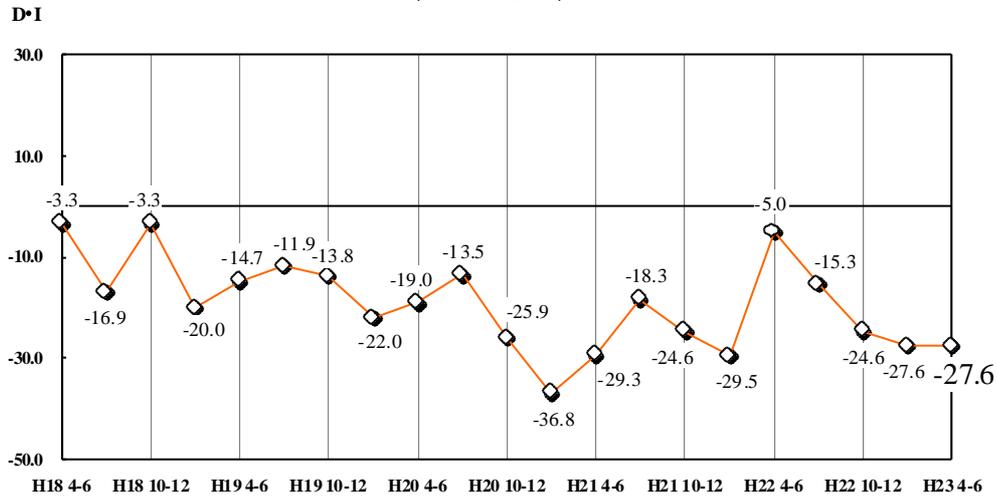
業況(製造業D・I)
(好転 - 悪化)



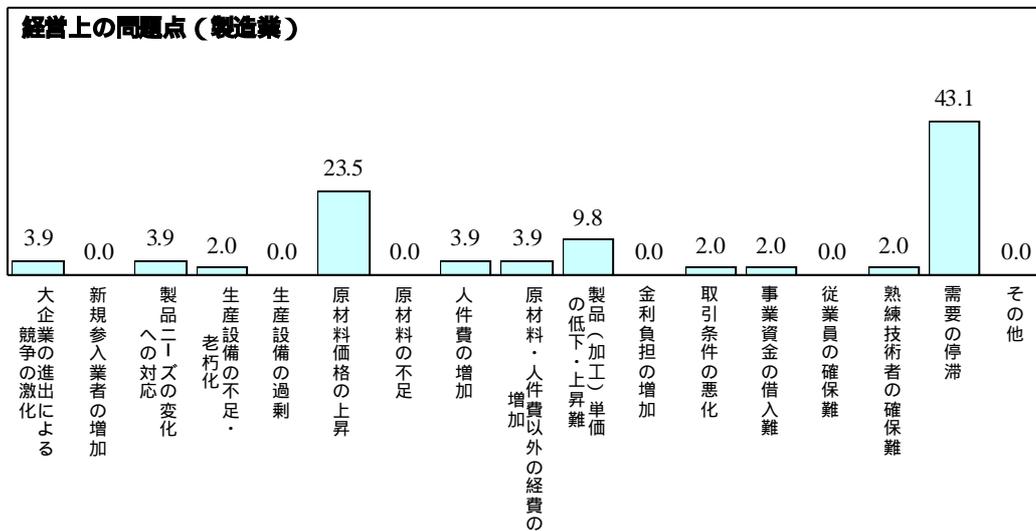
売上高(製造業D・I)
(増加 - 減少)



採算(製造業D・I)
(黒字 - 赤字)



経営上の問題点

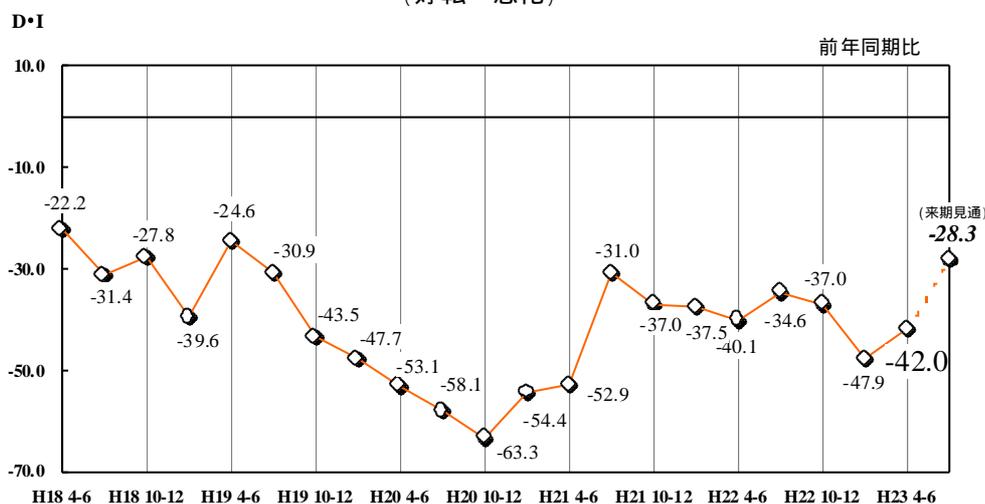


その他 (D・I値)

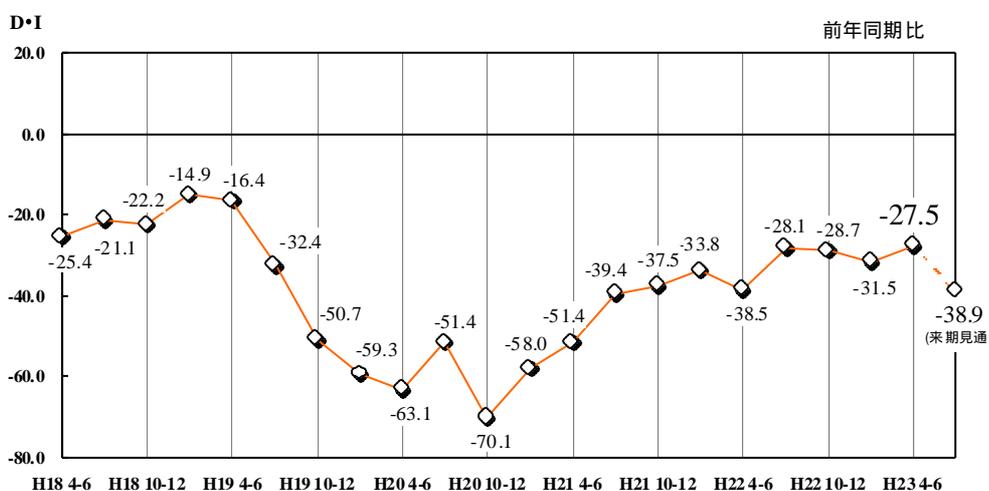
	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	38.0	30.3	33.4 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	15.1	7.4 (今期比)
短期 "	-----	5.9	1.9 (今期比)
設 備 操 業 率	28.0	-----	32.1 (前年同期比)

(2) 建 設 業

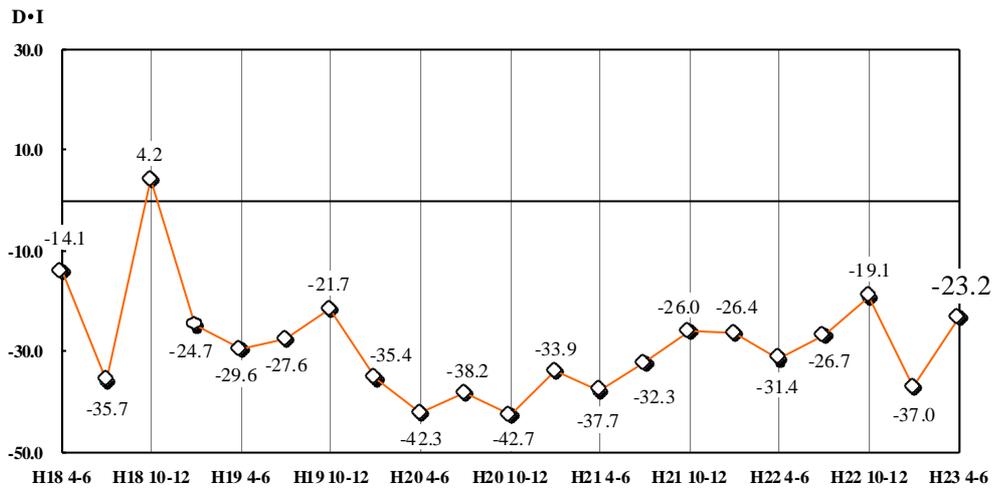
業 況(建設業D・I)
(好転 - 悪化)



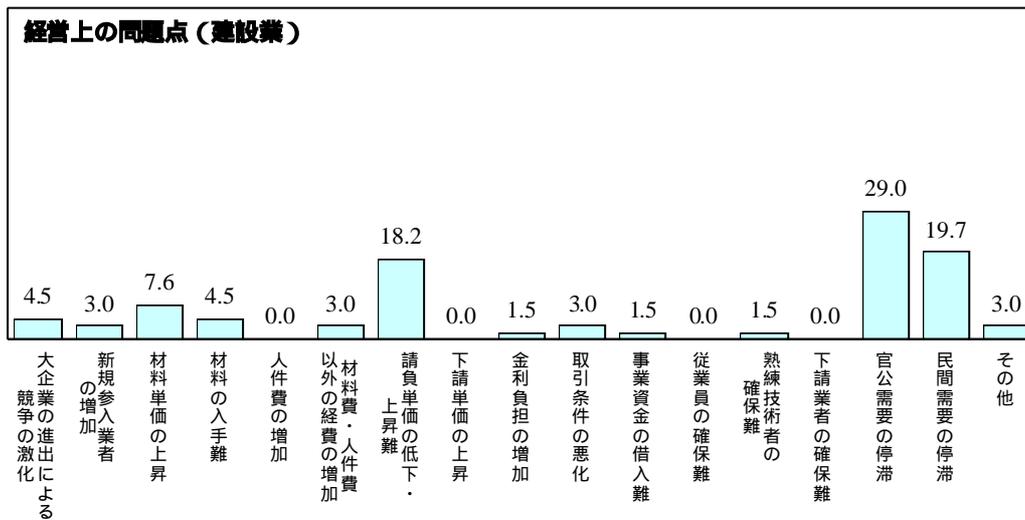
売 上 高(建設業D・I)
(増加 - 減少)



採 算(建設業D・I)
(黒字 - 赤字)



経営上の問題点

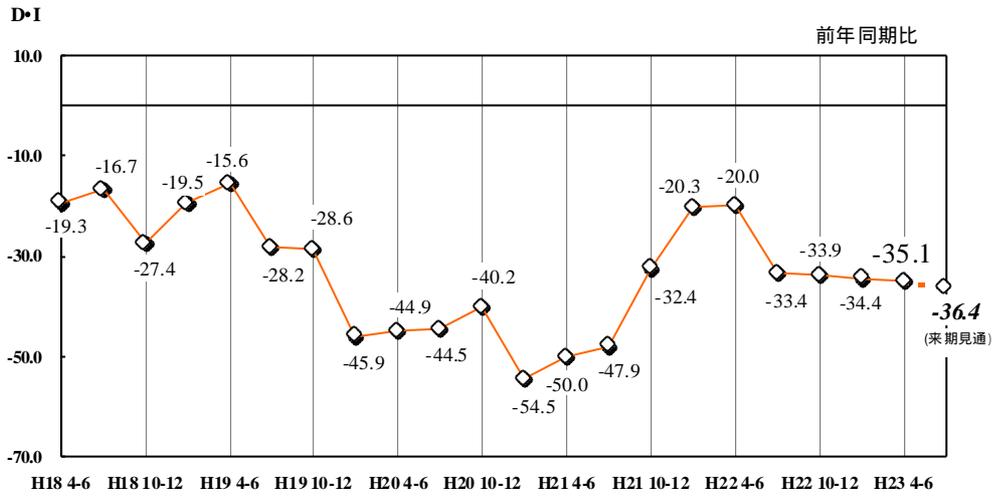


その他 (D・I値)

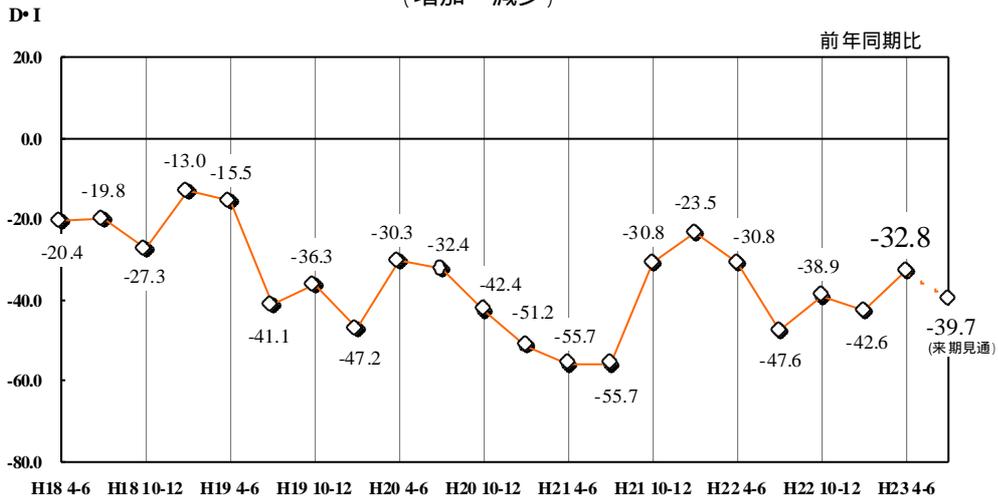
	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	23.2	24.7	37.3 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	11.4	14.8 (今期比)
短期 "	-----	5.1	5.1 (今期比)
受注(新規契約工事)額	34.8	-----	23.9 (前年同期比)

(3) 卸 売 業

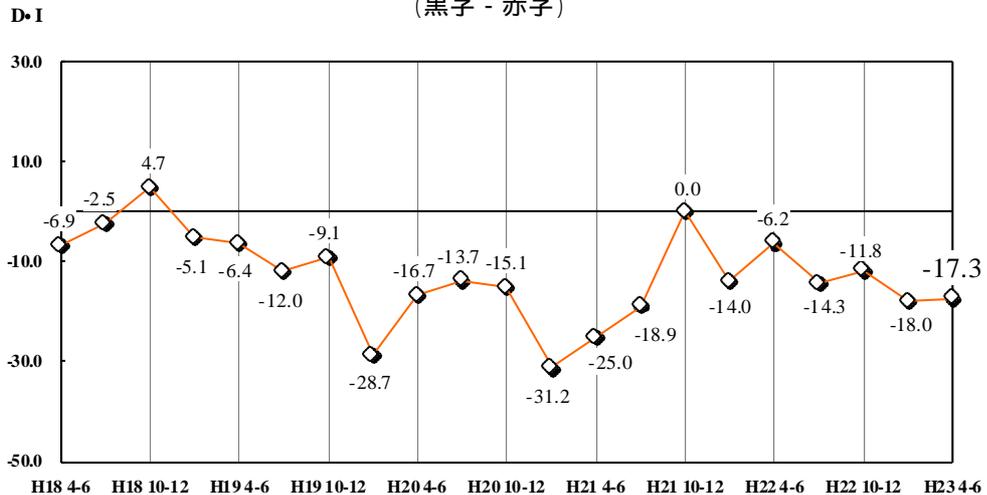
業 況 (卸売業D・I)
(好転 - 悪化)



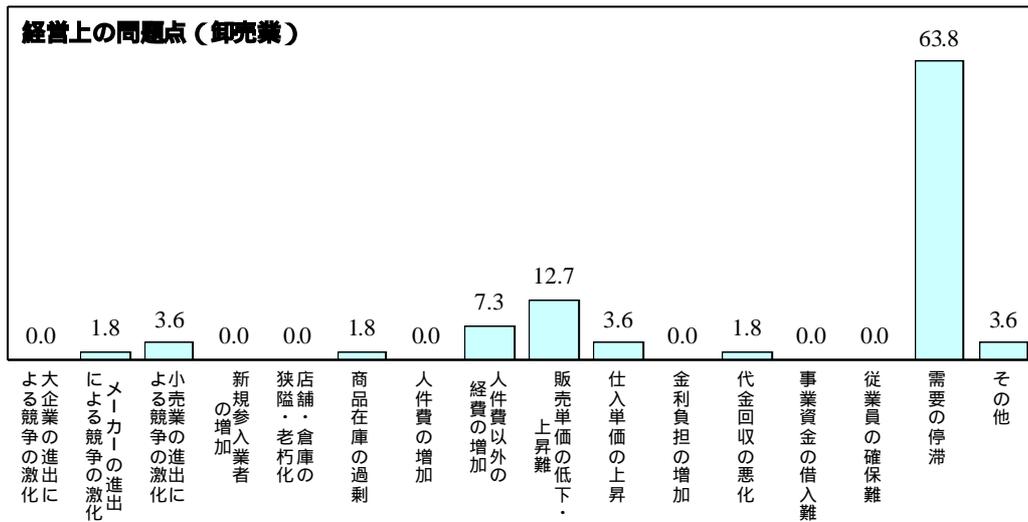
売 上 高 (卸売業D・I)
(増加 - 減少)



採 算 (卸売業D・I)
(黒字 - 赤字)



経営上の問題点

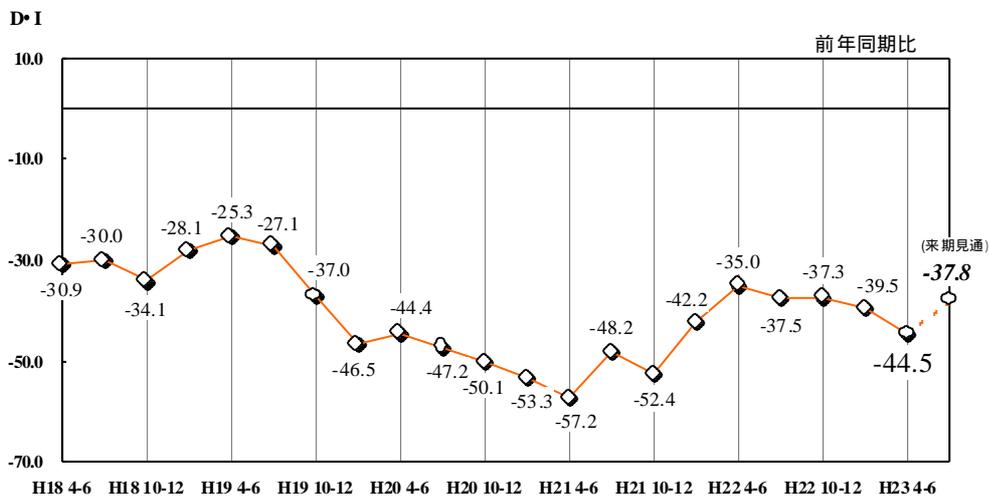


その他（D・I値）

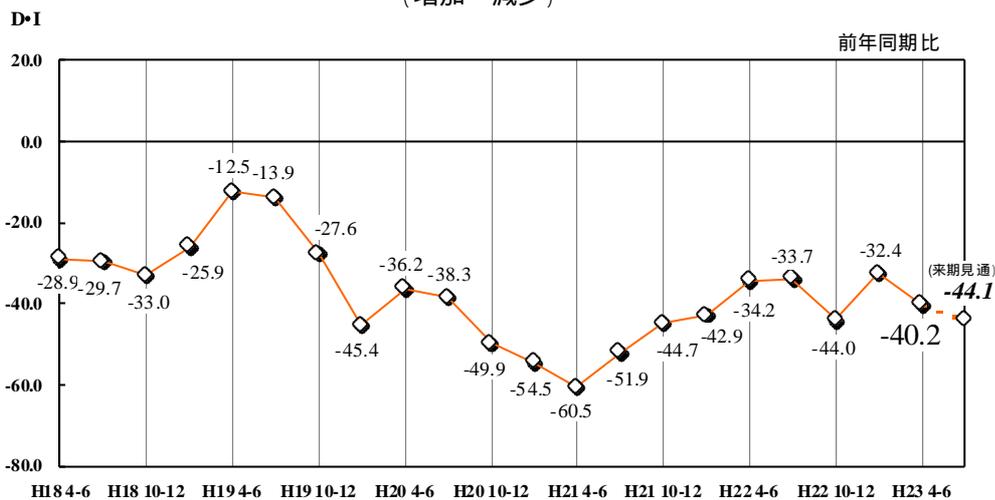
	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	20.7	15.5	24.2 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	3.6	7.4 (今期比)
短期 "	-----	0.0	3.7 (今期比)
商品在庫数量	19.0	-----	27.6 (前年同期比)

(4) 小 売 業

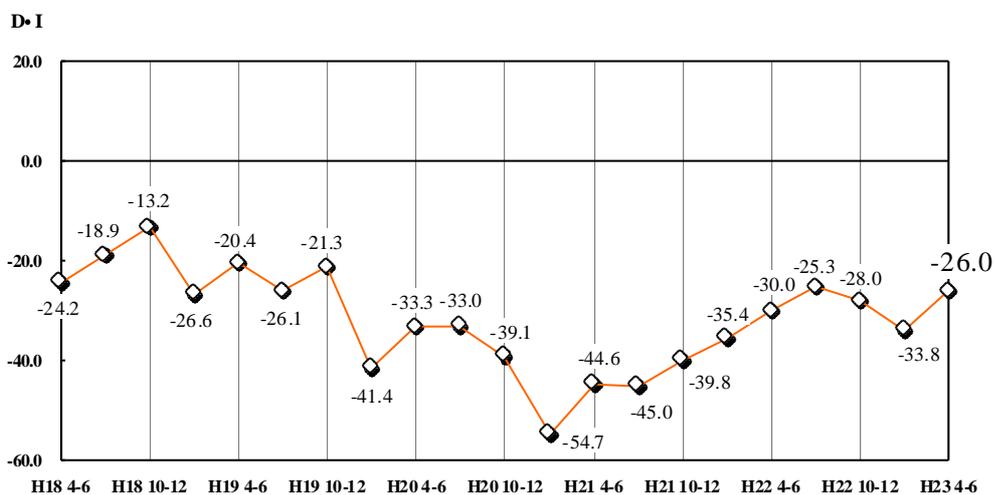
業 況(小売業D・I) (好転 - 悪化)



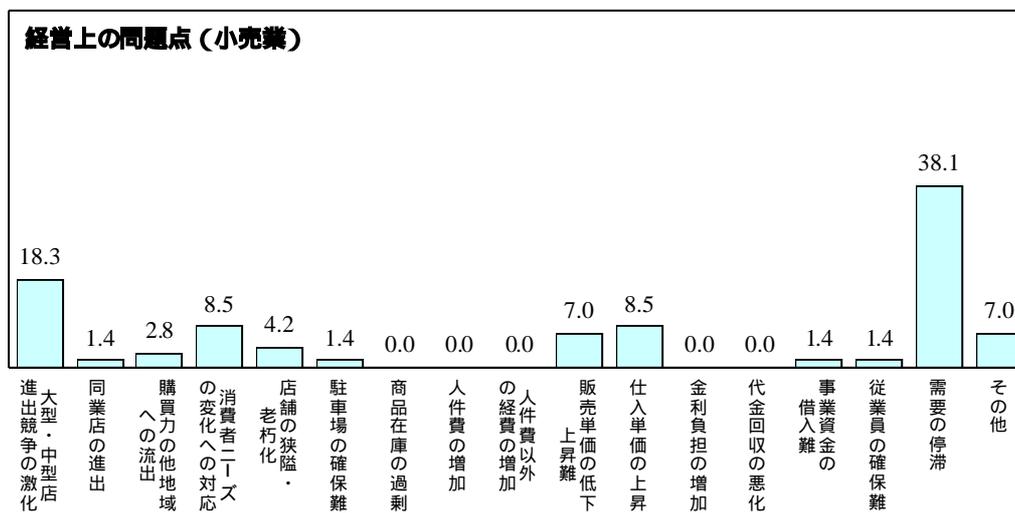
売上高(小売業D・I)
(増加 - 減少)



採算(小売業D・I)
(黒字 - 赤字)



経営上の問題点

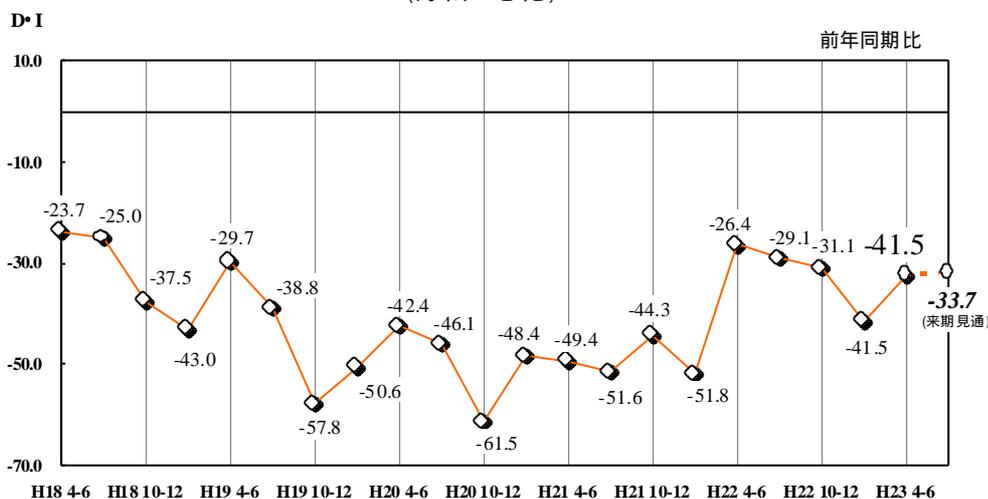


その他 (D・I値)

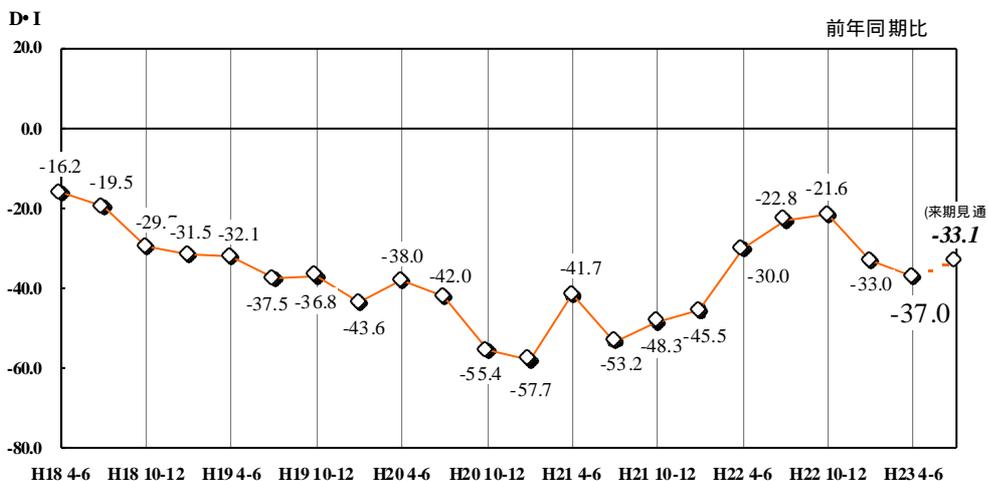
	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	33.8	27.6	32.5 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	23.2	20.6 (今期比)
短期 "	-----	15.2	15.2 (今期比)
商品在庫数量	22.4	-----	25.0 (前年同期比)

(5) サービス業

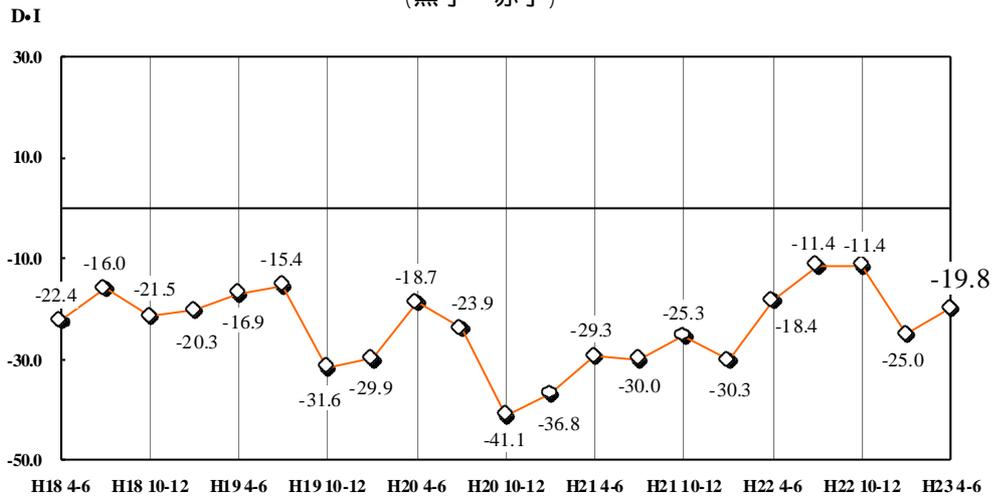
業 況 (サービス業D・I)
(好転 - 悪化)



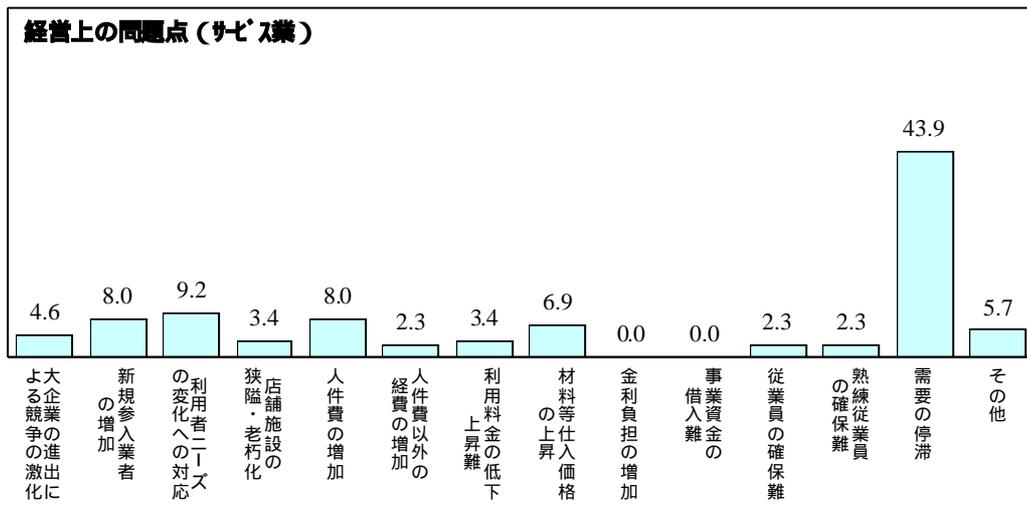
売 上 高 (サービス業D・I)
(増加 - 減少)



採 算(サービス業D・I)
(黒字 - 赤字)



経営上の問題点



その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	26.1	29.7	29.4 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	19.5	21.0 (今期比)
短期 "	-----	14.5	16.2 (今期比)
利 用 客 数	28.5	15.5	30.7 (前年同期比)

業種別調査資料

1. 製造業

(1) 今期の水準 (単位: %)

区分	今期(平成23年4月~6月)の水準			
	↗	↔	↘	D・I
業況(自社)	8.6	39.7	51.7	-43.1
生産に対する原材料在庫	7.1	85.8	7.1	0.0
売上に対する製品在庫	7.7	86.5	5.8	1.9
採算(経常利益)	12.1	48.2	39.7	-27.6
引合	14.3	37.5	48.2	-33.9
生産設備	10.7	78.6	10.7	0.0
従業員(含臨時・パート)	8.6	89.7	1.7	6.9

↗ : 良い、過剰、黒字、活発
 ↔ : ふつう、適正、収支トントン
 ↘ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区分	前年同期(平成22年4月~6月)に比べて				前期(平成23年1月~3月)に比べて				前年同期(平成22年4月~6月)と比べた来期(平成23年7月~9月)の見通し			
	↗	↔	↘	D・I	↗	↔	↘	D・I	↗	↔	↘	D・I
A 売上(加工)額	12.1	41.4	46.5	-34.4	27.6	36.2	36.2	-8.6	10.3	34.5	55.2	-44.9
B 売上(加工)単価	6.9	69.0	24.1	-17.2	6.9	77.6	15.5	-8.6	6.9	62.1	31.0	-24.1
C 売上(加工)数量	12.1	41.4	46.5	-34.4	27.6	37.9	34.5	-6.9	10.5	36.8	52.7	-42.2
D 資金繰り	3.4	55.2	41.4	-38.0	3.6	62.5	33.9	-30.3	7.0	52.6	40.4	-33.4
E 輸出入額	33.4	33.3	33.3	0.1					33.3	44.5	22.2	11.1
F 原材料仕入単価	59.7	36.8	3.5	56.2					62.5	32.1	5.4	57.1
G 原材料在庫数量	5.4	67.8	26.8	-21.4					5.4	69.6	25.0	-19.6
H 製品在庫数量	5.8	65.4	28.8	-23.0					5.9	64.7	29.4	-23.5
I 採算(経常利益)	5.2	39.7	55.1	-49.9					7.0	40.4	52.6	-45.6
J 従業員(含臨時・パート)	5.2	81.0	13.8	-8.6					5.3	85.9	8.8	-3.5
K 外部人材(請負・派遣)	7.4	85.2	7.4	0.0					6.1	84.8	9.1	-3.0
L 設備操業率	8.8	54.4	36.8	-28.0					11.1	48.2	40.7	-29.6
M 引合	16.4	41.8	41.8	-25.4								
N 受注残	3.8	58.5	37.7	-33.9								
	8.6	41.4	50.0	-41.4	14.5	43.7	41.8	-27.3	11.1	37.0	51.9	-40.8
O 業況(自社)	前年同期(平成22年4月~6月)に比べて				前期(平成23年1月~3月)に比べて				今期(平成23年4月~6月)と比べた来期(平成23年7月~9月)の見通し			
									13.5	48.0	38.5	-25.0
P 受取手形期間					0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
Q 長期資金借入難度					7.5	69.9	22.6	-15.1	7.4	77.8	14.8	-7.4
R 短期資金借入難度(含手形割引)					9.8	74.5	15.7	-5.9	9.6	78.9	11.5	-1.9
S 借入金金利					0.0	90.2	9.8	-9.8	0.0	94.2	5.8	-5.8

↗ : 増加 ↗ : 上昇 ↗ : 好転 ↗ : 長期化 ↗ : 容易
 ↔ : 不変(A, C, E, G, H, J, K, M, N) ↔ : 不変(B, F, L, S) ↔ : 不変(D, I, O) ↔ : 不変(P) ↔ : 不変(Q, R)
 ↘ : 減少 ↘ : 低下 ↘ : 悪化 ↘ : 短期化 ↘ : 困難

(3) 新規設備投資

(単位: %)

区分	実施・計画している									実施・計画していない
		土地	工場建物	生産設備	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
今期	17.5	10.0	0.0	80.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	82.5
来期	8.9	0.0	0.0	40.0	20.0	40.0	0.0	20.0	0.0	91.1

(4) 今期直面している経営上の問題点

(単位: %)

問題点	1位	1~3位
大企業の進出による競争の激化	3.9	7.8
新規参入業者の増加	0.0	0.0
製品ニーズの変化への対応	3.9	17.6
生産設備の不足・老朽化	2.0	15.7
生産設備の過剰	0.0	0.0
原材料価格の上昇	23.5	58.8
原材料の不足	0.0	5.9
人件費の増加	3.9	13.7
原材料費・人件費以外の経費の増加	3.9	9.8
製品(加工)単価の低下・上昇難	9.8	37.3
金利負担の増加	0.0	0.0
取引条件の悪化	2.0	11.8
事業資金の借入難	2.0	11.8
従業員の確保難	0.0	2.0
熟練技術者の確保難	2.0	5.9
需要の停滞	43.1	68.6
その他	0.0	2.0

2. 建設業

(1) 今期の水準 (単位：%)

区分	今期(平成23年4月～6月)の水準			
	▲	▼	↔	D・I
業況(自社)	7.2	42.0	50.8	-43.6
採算(経常利益)	14.5	47.8	37.7	-23.2
引合い	7.5	55.2	37.3	-29.8
従業員(含臨時・パート)	4.4	91.2	4.4	0.0

▲：良い、過剰、黒字、活発
 ▼：ふつう、適正、収支トントン
 ↔：悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区分	前年同期(平成22年4月～6月)に比べて				前期(平成23年1月～3月)に比べて				前年同期(平成22年4月～6月)と比べた 来期(平成23年7月～9月)の見通し			
	▲	▼	↔	D・I	▲	▼	↔	D・I	▲	▼	↔	D・I
A 完成工事(請負工事)額	14.5	43.5	42.0	-27.5	27.5	26.1	46.4	-18.9	11.9	37.3	50.8	-38.9
B 資金繰り	1.4	74.0	24.6	-23.2	4.3	66.7	29.0	-24.7	0.0	62.7	37.3	-37.3
C 受注(新規契約工事)額	14.5	36.2	49.3	-34.8					17.9	40.3	41.8	-23.9
D 材料仕入単価	44.9	55.1	0.0	44.9					44.8	55.2	0.0	44.8
E 採算(経常利益)	1.4	46.4	52.2	-50.8					4.5	46.3	49.2	-44.7
F 従業員(含臨時・パート)	9.0	73.1	17.9	-8.9					7.6	81.8	10.6	-3.0
G 外部人材(請負・派遣)	7.9	81.0	11.1	-3.2					8.1	83.8	8.1	0.0
H 引合い	7.7	53.8	38.5	-30.8								
I 契約残(未消化工事高)	7.6	46.9	45.5	-37.9								
J 業況(自社)	2.9	52.2	44.9	-42.0	13.2	48.6	38.2	-25.0	7.5	56.7	35.8	-28.3
K 受取手形期間					0.0	100.0	0.0	0.0	15.2	57.5	27.3	-12.1
L 長期資金借入難度					6.6	75.4	18.0	-11.4	4.9	75.4	19.7	-14.8
M 短期資金借入難度(含手形割引)					5.1	84.7	10.2	-5.1	5.1	84.7	10.2	-5.1
N 借入金金利					3.2	93.6	3.2	0.0	4.9	91.8	3.3	1.6

▲：増加 ▲：好転 ▲：長期化 ▲：容易
 ▼：減少 ▼：悪化 ▼：短期化 ▼：困難
 ↔：不変(A, C, F, G, H, I) ↔：不変(D, N) ↔：不変(B, E, J) ↔：不変(K)
 ↔：不変(L, M)

(3) 新規設備投資 (単位：%)

区分	実施・計画している	実施・計画していない								
		土地	建物	建設機械	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
今期	17.9	0.0	0.0	8.3	58.3	8.3	50.0	0.0	0.0	82.1
来期	11.9	0.0	12.5	37.5	50.0	12.5	12.5	0.0	0.0	88.1

(4) 今期直面している経営上の問題点 (単位：%)

問題点	1位	1～3位
大企業の進出による競争の激化	4.5	12.1
新規参入業者の増加	3.0	7.6
材料単価の上昇	7.6	31.8
材料の入手難	4.5	13.6
人件費の増加	0.0	3.0
材料費・人件費以外の経費の増加	3.0	4.5
請負単価の低下・上昇難	18.2	56.1
下請単価の上昇	0.0	1.5
金利負担の増加	1.5	3.0
取引条件の悪化	3.0	12.1
事業資金の借入難	1.5	10.6
従業員の確保難	0.0	4.5
熟練技術者の確保難	1.5	9.1
下請業者の確保難	0.0	1.5
官公需要の停滞	29.0	45.5
民間需要の停滞	19.7	48.5
その他	3.0	3.0

3.卸売業

(1) 今期の水準 (単位: %)

区 分	今 期(平成23年4月~6月)の水準			
	↗	↘	D・I	
業 況(自 社)	12.1	37.9	50.0	-37.9
売 上 対 する 商 品 在 庫	21.1	77.1	1.8	19.3
採 算(経常利益)	17.2	48.3	34.5	-17.3
引 合 計	7.0	40.4	52.6	-45.6
従 業 員(含臨時・パート)	1.8	94.6	3.6	-1.8

↗ : 良い、過剰、黒字、活発
 - : ふつう、適正、収支トントン
 ↘ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成22年4月~6月)に比べて				前期(平成23年1月~3月)に比べて				前年同期(平成22年4月~6月)と比べた 来 期(平成23年7月~9月)の見通し			
	↗	↘	D・I		↗	↘	D・I		↗	↘	D・I	
A 売 上 額	17.2	32.8	50.0	-32.8	45.6	28.1	26.3	19.3	6.9	46.5	46.6	-39.7
B 売 上 単 価	13.8	65.5	20.7	-6.9	12.1	70.7	17.2	-5.1	8.6	67.3	24.1	-15.5
C 資 金 繰 り	6.9	65.5	27.6	-20.7	6.9	70.7	22.4	-15.5	3.4	69.0	27.6	-24.2
D 商 品 仕 入 単 価	41.4	50.0	8.6	32.8					37.9	55.2	6.9	31.0
E 商 品 仕 入 数 量	13.8	36.2	50.0	-36.2					8.6	48.3	43.1	-34.5
F 商 品 在 庫 数 量	15.5	50.0	34.5	-19.0					6.9	58.6	34.5	-27.6
G 採 算(経常利益)	8.6	41.4	50.0	-41.4					0.0	53.4	46.6	-46.6
H 従 業 員(含臨時・パート)	9.3	77.7	13.0	-3.7					5.6	87.0	7.4	-1.8
I 外 部 人 材(請負・派遣)	0.0	100.0	0.0	0.0					0.0	97.5	2.5	-2.5
J 引 合 計	10.7	41.1	48.2	-37.5								0.0
K 業 況(自 社)	8.8	47.3	43.9	-35.1	14.5	51.0	34.5	-20.0	3.6	56.4	40.0	-36.4
	前年同期(平成22年4月~6月)に比べて				前期(平成23年1月~3月)に比べて				今 期(平成23年4月~6月)と比べた 来 期(平成23年7月~9月)の見通し			
L 受 取 手 形 期 間					0.0	100.0	0.0	0.0	2.1	95.8	2.1	0.0
M 長 期 資 金 借 入 難 度					7.3	81.8	10.9	-3.6	5.6	81.4	13.0	-7.4
N 短 期 資 金 借 入 難 度(含手形割引)					7.3	85.4	7.3	0.0	7.4	81.5	11.1	-3.7
O 借 入 金 利					0.0	92.7	7.3	-7.3	1.9	96.2	1.9	0.0

↗ : 増加
 - : 不変(A, E, F, H, I, J)
 ↘ : 減少
 ↗ : 上昇
 - : 不変(B, D, O)
 ↘ : 低下
 ↗ : 好転
 - : 不変(C, G, K)
 ↘ : 悪化
 ↗ : 長期化
 ↘ : 短期化
 ↗ : 容易
 - : 不変(L)
 ↘ : 困難
 - : 不変(M, N)

(3) 新規設備投資

(単位: %)

区 分	実施・計画 している	実施・計画 していない								
		土 地	店 舗	倉 庫	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	そ の 他	
今 期	3.5	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	96.5
来 期	5.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	95.0

(4) 今期直面している経営上の問題点 (単位: %)

問 題 点	1 位	1~3位
大企業の進出による競争の激化	0.0	9.1
メーカーの進出による競争の激化	1.8	1.8
小売業の進出による競争の激化	3.6	10.9
新規参入業者の増加	0.0	1.8
店舗・倉庫の狭隘・老朽化	0.0	1.8
商品在庫の過剰	1.8	7.3
人件費の増加	0.0	3.6
人件費以外の経費の増加	7.3	14.5
販売単価の低下・上昇難	12.7	34.5
仕入単価の上昇	3.6	32.7
金利負担の増加	0.0	0.0
代金回収の悪化	1.8	12.7
事業資金の借入難	0.0	5.5
従業員の確保難	0.0	3.6
需 要 の 停 滞	63.8	81.8
そ の 他	3.6	9.1

4.小 売 業

(1) 今期の水準 (単位: %)

区 分	今 期(平成23年4月~6月)の水準			
	↗	↘	↔	D・I
業 況 (自 社)	5.2	28.6	66.2	-61.0
売 上 に 対 す る 原 材 料 在 庫	19.5	67.5	13.0	6.5
採 算 (経 常 利 益)	9.1	55.8	35.1	-26.0
従 業 員 (含 臨 時・パ ー ト)	11.3	78.8	9.9	1.4

↗ : 良い、過剰、黒字、活発
 - : ふつう、適正、収支トントン
 ↘ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成22年4月~6月)に比べて				前期(平成23年1月~3月)に比べて				前年同期(平成22年4月~6月)と比べた 来 期(平成23年7月~9月)の見通し			
	↗	↘	↔	D・I	↗	↘	↔	D・I	↗	↘	↔	D・I
A 売 上 額	14.3	31.2	54.5	-40.2	19.7	31.6	49.7	-29.0	6.5	42.9	50.6	-44.1
B 客 単 価	11.7	46.7	41.6	-29.9	13.2	48.6	38.2	-25.0	5.2	53.2	41.6	-36.4
C 客 数	6.5	44.2	49.3	-42.8	14.5	39.5	46.0	-31.5	3.9	53.2	42.9	-39.0
D 資 金 繰 り	1.3	63.6	35.1	-33.8	1.3	69.8	28.9	-27.6	1.3	64.9	33.8	-32.5
E 商 品 仕 入 単 価	24.7	58.4	16.9	7.8					24.7	59.7	15.6	9.1
F 商 品 仕 入 額	19.5	42.8	37.7	-18.2					15.6	48.0	36.4	-20.8
G 商 品 在 庫 数 量	9.2	59.2	31.6	-22.4					5.3	64.4	30.3	-25.0
H 採 算 (経 常 利 益)	2.6	53.2	44.2	-41.6					3.9	55.8	40.3	-36.4
I 従 業 員 (含 臨 時・パ ー ト)	2.9	85.3	11.8	-8.9					0.0	88.6	11.4	-11.4
J 外 部 人 材 (請 負・派 遣)	0.0	94.0	6.0	-6.0					0.0	96.0	4.0	-4.0
	4.1	47.3	48.6	-44.5	14.7	45.6	39.7	-25.0	6.8	48.6	44.6	-37.8
K 業 況 (自 社)	前年同期(平成22年4月~6月)に比べて				前期(平成23年1月~3月)に比べて				今 期(平成23年4月~6月)と比べた 来 期(平成23年7月~9月)の見通し			
									8.5	52.1	39.4	-30.9
L 長 期 資 金 借 入 難 度					0.0	76.8	23.2	-23.2	0.0	79.4	20.6	-20.6
M 短 期 資 金 借 入 難 度 (含 手 形 割 引)					0.0	84.8	15.2	-15.2	0.0	84.8	15.2	-15.2
N 借 入 金 利					2.9	92.8	4.3	-1.4	2.9	92.8	4.3	-1.4

↗ : 増加
 - : 不変 (A, C, F, G, I, J)
 ↘ : 減少
 ↗ : 上昇
 - : 不変 (B, E, N)
 ↘ : 低下
 ↗ : 好転
 - : 不変 (D, H, K)
 ↘ : 悪化
 ↗ : 容易
 - : 不変 (L, M)
 ↘ : 困難

(3) 新規設備投資

(単位: %)

区 分	実施・計画 している									実施・計画 していない
		土 地	店 舗	販 売 設 備	車 両・運 搬 具	付 帯 施 設	O A 機 器	福 利 厚 生 施 設	そ の 他	
今 期	8.1	0.0	33.3	33.3	0.0	16.7	16.7	0.0	66.7	91.9
来 期	9.5	0.0	14.3	14.3	14.3	0.0	57.1	0.0	14.3	90.5

(4) 今期直面している経営上の問題点 (単位: %)

問 題 点	1 位	1~3 位
大・中型店の進出による競争の激化	18.3	26.8
同 業 者 の 進 出	1.4	8.5
購 買 力 の 他 地 域 へ の 流 出	2.8	12.7
消 費 者 ニ ー ス の 変 化 へ の 対 応	8.5	25.4
店 舗 の 狭 隘・老 朽 化	4.2	8.5
駐 車 場 の 確 保 難	1.4	5.6
商 品 在 庫 の 過 剰	0.0	5.6
人 件 費 の 増 加	0.0	12.7
人 件 費 以 外 の 経 費 の 増 加	0.0	7.0
販 売 単 価 の 低 下・上 昇 難	7.0	38.0
仕 入 単 価 の 上 昇	8.5	19.7
金 利 負 担 の 増 加	0.0	0.0
代 金 回 収 の 悪 化	0.0	4.2
事 業 資 金 の 借 入 難	1.4	8.5
従 業 員 の 確 保 難	1.4	2.8
需 要 の 停 滞	38.1	60.6
そ の 他	7.0	12.7

5. サービス業

(1) 今期の水準 (単位：%)

区 分	今 期(平成23年4月～6月)の水準			
	↗	↘	↔	D・I
業 況 (自 社)	8.3	40.6	51.1	-42.8
採 算 (経常利益)	11.5	57.2	31.3	-19.8
従 業 員 (含臨時・パート)	9.0	80.9	10.1	-1.1

↗ : 良い、過剰、黒字、活発
 - : ぶつう、適正、収支トントン
 ↘ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成22年4月～6月)に比べて				前期(平成23年1月～3月)に比べて				前年同期(平成22年4月～6月)と比べた 来 期(平成23年7月～9月)の見通し			
	↗	↘	↔	D・I	↗	↘	↔	D・I	↗	↘	↔	D・I
A 売上 (収入) 額	15.5	32.0	52.5	-37.0	19.8	39.6	40.6	-20.8	14.4	38.1	47.5	-33.1
B 客 単 価	5.3	49.0	45.7	-40.4	5.4	58.0	36.6	-31.2	3.2	56.4	40.4	-37.2
C 利 用 客 数	15.4	40.7	43.9	-28.5	18.9	46.7	34.4	-15.5	14.3	40.7	45.0	-30.7
D 資 金 繰 り	5.4	63.1	31.5	-26.1	4.4	61.5	34.1	-29.7	4.3	62.0	33.7	-29.4
E 仕 入 単 価 (材 料 等)	36.3	58.2	5.5	30.8					36.3	54.9	8.8	27.5
F 採 算 (経常利益)	7.3	38.5	54.2	-46.9					8.3	39.6	52.1	-43.8
G 従 業 員 (含臨時・パート)	8.0	76.1	15.9	-7.9					7.9	76.4	15.7	-7.8
H 外 部 人 材 (請 負 ・ 派 遣)	11.3	77.4	11.3	0.0					4.8	79.1	16.1	-11.3
I 業 況 (自 社)	13.5	40.6	45.9	-32.4	15.2	45.7	39.1	-23.9	14.7	38.9	46.4	-31.7
L 長 期 資 金 借 入 難 度					7.3	65.9	26.8	-19.5	6.2	66.6	27.2	-21.0
M 短 期 資 金 借 入 難 度 (含手形割引)					6.6	72.3	21.1	-14.5	5.4	73.0	21.6	-16.2
N 借 入 金 利					7.7	83.3	9.0	-1.3	7.7	83.3	9.0	-1.3

↗ : 増加
 - : 不変 (A, C, G, H)
 ↘ : 減少
 ↗ : 上昇
 - : 不変 (B, E, N)
 ↘ : 低下
 ↗ : 好転
 - : 不変 (D, F, I)
 ↘ : 悪化
 ↗ : 容易
 - : 不変 (L, M)
 ↘ : 困難

(3) 新規設備投資 (単位：%)

区 分	実施・計画 している	実施・計画 していない								
		土 地	建 物	サ ー ビ ス 設 備	車 両 ・ 運 搬 具	付 帯 施 設	O A 機 器	福 利 厚 生 施 設	そ の 他	
今 期	12.5	8.3	16.7	8.3	16.7	8.3	50.0	0.0	16.7	87.5
来 期	12.6	8.3	8.3	50.0	16.7	16.7	41.7	0.0	16.7	87.4

(4) 今期直面している経営上の問題点 (単位：%)

問 題 点	1 位	1～3位
大企業の進出による競争の激化	4.6	11.5
新規参入業者の増加	8.0	14.9
利用者ニーズの変化への対応	9.2	32.2
店舗施設の狭隘・老朽化	3.4	10.3
人件費の増加	8.0	16.1
人件費以外の経費の増加	2.3	20.7
利用料金の低下・上昇難	3.4	27.6
材料等仕入単価の上昇	6.9	23.0
金利負担の増加	0.0	3.4
事業資金の借入難	0.0	12.6
従業員確保難	2.3	10.3
熟練従業員確保難	2.3	13.8
需要の停滞	43.9	59.8
その他	5.7	10.3